

施設の概要

(1) 文化センター

施設の名称	北本市文化センター（北本市中央公民館・北本市立中央図書館）
施設の所在地	北本市本町1丁目2番地1
起工	昭和57年6月22日
竣工	昭和59年2月10日
構造	鉄筋コンクリート造り（一部鉄骨鉄筋コンクリート）
規模	地下1階、地上4階 敷地面積 10,633.46 m <sup>2</sup> 建築面積 3,478.18 m <sup>2</sup> 延べ面積 7,686.26 m <sup>2</sup> （中央公民館 6,307.45 m <sup>2</sup> ）（中央図書館 1,224.99 m <sup>2</sup> ） （レストラン 153.82 m <sup>2</sup> ）

(2) 中央公民館

ホール（1階・2階）、楽屋1、楽屋2、リハーサル室、楽屋控室、シャワー室、主催者控室、事務室、エントランスホール、ホワイエ、研修室（第1、第2、第3）、IT室、展示ホール、プラネタリウム、創作室、会議室（第1、第2、第3、第4、第5）和室、練習室、児童室
---

(3) 中央図書館

一般開架室、閉架書庫、朗読集会室、事務室、児童図書コーナー、学習コーナー、新聞・雑誌コーナー、えほんコーナー
--

(4) 指定管理者

名称	acTrC 北本ネットワーク （あくとーくきたもとねっとわーく）
指定期間	平成30年4月1日から令和10年3月31日まで
代表企業	株式会社 東急コミュニティー 所在地 東京都世田谷区用賀四丁目10番地1
構成企業	株式会社 図書館流通センター 所在地 東京都文京区大塚三丁目1番1号
構成企業	アクティオ株式会社 所在地 東京都目黒区東山一丁目5番4号

(2) 中央図書館 (令和5年度上半期)

(1) 目標達成状況

① 令和5年度来館者数

年度目標人数	上半期来館者数	前年同期来館者数	前年比	累積来館者数	達成率
210,000人	105,138人	98,909人	106.3%	105,138人	50.1%

※来館者数は機械式自動カウンターで計測しているため若干の変動あり。(9:00~21:00)

(2) 貸出サービス(統計)

① 貸出総計

	個人利用	団体利用	合計	前年同期	前年比
利用者数	38,849人	35人	38,884人	38,997人	99.7%
貸出点数	114,578冊	200冊	114,778冊	117,017冊	98.1%

② 個人市内利用

	中央図書館	南部分室	西部分室	学習セ分室	合計	前年同期	前年比	
開館日数	170日	50日	50日	50日	170日	170日	100.0%	
利用者数	33,051人	873人	166人	566人	34,656人	34,767人	99.7%	
貸出点数	一般書	70,947	1,623	393	1,027	73,990	75,929	97.4%
	児童書	6,863	322	46	176	7,407	6,963	106.4%
	文庫・新書	10,553	489	14	143	11,199	11,542	97.0%
	年鑑・白書	9	0	0	0	9	4	225.0%
	雑誌	5,541	80	6	98	5,725	5,992	95.5%
	紙芝居	38	1	2	3	44	22	200.0%
	CD・カセット	1,896	3	0	1	1,900	1,866	101.8%
	テープ・デイジー図書	511	0	0	0	511	650	78.6%
合計	96,358	2,518	461	1,448	100,785	102,968	97.9%	
登録者数	270人	2人	0人	0人	272人	210人	129.5%	
現登録者数	13,103人	121人	48人	85人	13,357人	12,910人	103.5%	

\*学習セ分室：学習センター分室

③個人広域利用(桶川市・鴻巣市)

	中央図書館 上半期			前年同期	前年比	
	鴻巣市	桶川市	合計			
開館日数	170日	170日	170日	170日	100.0%	
利用者数	3,159人	1,034人	4,193人	4,187人	100.1%	
貸出点数	一般書	7,175	2,473	9,648	9,578	100.7%
	児童書	1,141	299	1,440	842	171.0%
	文庫・新書	701	446	1,147	1,372	83.6%
	年鑑・白書	0	0	0	0	-
	雑誌	820	286	1,106	1,394	79.3%
	紙芝居	0	4	4	5	80.0%
	CD・カセット	210	165	375	461	81.3%
	テープ・デイジー図書	73	0	73	69	105.8%
合計	10,120	3,673	13,793	13,721	100.5%	
登録者数	25人	13人	38人	27人	140.7%	
現登録者数	1,369人	524人	1,893人	1,784人	106.1%	

④ 団体貸出（中央図書館）

		中央図書館 上半期	前年同期	前年比
利用者数		35人	43人	81.4%
貸出 点数	一般書	60	103	58.3%
	児童書	130	218	59.6%
	文庫・新書	4	2	200.0%
	年鑑・白書	0	0	-
	雑誌	4	5	80.0%
	紙芝居	0	0	-
	CD・カセット テープ・DVD・図書	2 0	0 0	前年より+2 -
合計	200	328	61.0%	
登録者数		1人	1人	100.0%
現登録者数		49人	48人	102.1%

⑤ 月別対比

上段：令和5年度 下段：令和4年度

月	開館 日数	来館者数(人)					利用者数(人)					貸出点数(点)				
		中央	南部	西部	学セ	合計	中央	南部	西部	学セ	合計	中央	南部	西部	学セ	合計
4	29	14,951	168	34	132	15,285	6,383	140	32	103	6,658	18,952	383	90	275	19,700
	29	14,891	240	31	172	15,334	6,229	159	22	138	6,548	18,732	390	66	381	19,569
5	30	16,993	206	32	147	17,378	6,375	164	27	103	6,669	18,732	454	79	245	19,510
	30	16,548	229	24	153	16,954	6,439	174	23	121	6,757	19,578	434	71	326	20,409
6	23	13,674	147	20	104	13,945	5,279	119	24	81	5,503	16,005	339	55	226	16,625
	23	13,377	144	37	118	13,676	5,192	117	26	98	5,433	16,016	357	83	296	16,752
7	30	19,574	221	40	141	19,976	6,480	158	28	113	6,779	19,217	428	71	270	19,986
	30	18,792	213	44	144	19,193	6,713	149	27	95	6,984	20,038	373	78	234	20,723
8	30	20,528	211	32	110	20,881	6,605	148	25	84	6,862	19,522	444	83	208	20,257
	30	17,833	208	40	152	18,233	6,587	138	23	114	6,862	19,829	376	57	283	20,545
9	28	17,329	193	33	118	17,673	6,157	144	30	82	6,413	17,923	470	83	224	18,700
	28	15,229	155	26	109	15,519	6,190	112	21	90	6,413	18,431	276	82	230	19,019
計	170	103,049	1,146	191	752	105,138	37,279	873	166	566	38,884	110,351	2,518	461	1,448	114,778
	170	96,670	1,189	202	848	98,909	37,350	849	142	656	38,997	112,624	2,206	437	1,750	117,017

⑥相互貸借サービス

ア) 相互貸借点数

	上半期	前年同期	前年比
他市町村へ貸出	1,207	1,236	97.7%
他市町村から借受	1,491	1,568	95.1%

イ) 相互貸借(貸出館及び点数)

	貸出館	点数
1	上尾市立図書館	33
2	朝霞市立図書館	23
3	伊奈町立図書館	12
4	入間市立図書館	19
5	小鹿野町立図書館	3
6	小川町立図書館	9
7	桶川市立図書館	70
8	越生町立図書館	3
9	春日部市立図書館	72
10	加須市立図書館	47
11	神川町立図書館	1
12	上里町立図書館	20
13	川口市立図書館	38
14	川越市立図書館	50
15	川島町立図書館	1
16	行田市立図書館	8
17	久喜市立図書館	35
18	熊谷市立図書館	17
19	鴻巣市立図書館	23
20	越谷市立図書館	39
21	県立久喜図書館	31
22	県立熊谷図書館	24
23	さいたま市立図書館	29
24	坂戸市立図書館	23
25	幸手市立図書館	19
26	狭山市立図書館	8
27	志木市立図書館	31
28	白岡市立図書館	8
29	杉戸町立図書館	14
30	草加市立図書館	18
31	嵐山町立図書館	5

	貸出館	点数
32	秩父市立図書館	9
33	鶴ヶ島市立図書館	21
34	ときがわ町立図書館	6
35	所沢市立図書館	53
36	戸田市立図書館	41
37	長瀨町立図書館	2
38	滑川町立図書館	2
39	新座市立図書館	23
40	蓮田市立図書館	30
41	鳩山町立図書館	9
42	羽生市立図書館	15
43	飯能市立図書館	4
44	東松山市立図書館	21
45	日高市立図書館	18
46	深谷市立図書館	28
47	富士見市立図書館	30
48	ふじみ野市立図書館	19
49	本庄市立図書館	10
50	三郷市立図書館	25
51	宮代町立図書館	16
52	三芳町立図書館	8
53	毛呂山町立図書館	2
54	八潮市立図書館	11
55	横瀬町立図書館	1
56	吉川市立図書館	15
57	吉見町立図書館	5
58	和光市立図書館	34
59	蕨市立図書館	11
60	その他自治体	1
61	大学図書館	1
62	県外図書館	3
合計		1,207



ウ) 相互貸借 (借受館及び点数)

	借受館	点数
1	上尾市立図書館	36
2	朝霞市立図書館	29
3	伊奈町立図書館	20
4	入間市立図書館	29
5	小鹿野町立図書館	19
6	小川町立図書館	20
7	桶川市立図書館	14
8	越生町立図書館	12
9	春日部市立図書館	39
10	加須市立図書館	38
11	神川町立図書館	4
12	上里町立図書館	16
13	川口市立図書館	32
14	川越市立図書館	31
15	行田市立図書館	29
16	久喜市立図書館	31
17	熊谷市立図書館	28
18	鴻巣市立図書館	33
19	越谷市立図書館	39
20	県立久喜図書館	122
21	県立熊谷図書館	155
22	さいたま市立図書館	36
23	坂戸市立図書館	23
24	幸手市立図書館	5
25	狭山市立図書館	8
26	志木市立図書館	32
27	白岡市立図書館	24
28	杉戸町立図書館	23
29	草加市立図書館	39
30	嵐山町立図書館	2

	借受館	点数
31	秩父市立図書館	21
32	鶴ヶ島市立図書館	25
33	ときがわ町立図書館	4
34	所沢市立図書館	38
35	戸田市立図書館	20
36	新座市立図書館	27
37	蓮田市立図書館	25
38	羽生市立図書館	4
39	飯能市立図書館	27
40	東松山市立図書館	26
41	日高市立図書館	13
42	深谷市立図書館	27
43	富士見市立図書館	13
44	ふじみ野市立図書館	30
45	本庄市立図書館	25
46	三郷市立図書館	26
47	宮代町立図書館	26
48	三芳町立図書館	12
49	毛呂山町立図書館	21
50	八潮市立図書館	21
51	横瀬町立図書館	12
52	吉川市立図書館	21
53	吉見町立図書館	1
54	寄居町立図書館	2
55	和光市立図書館	24
56	蕨市立図書館	25
57	その他自治体	2
58	大学図書館	3
59	県外図書館	2
合計		1,491

(3) レファレンスサービス (調査等の援助業務)

	所在	書誌事項	文献	事実	その他	合計	前年同期	前年比
口頭	800件	28件	26件	62件	94件	1,010件	1,067件	94.7%
電話	36件	3件	6件	21件	12件	78件	152件	51.3%
文書	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	-
合計	836件	31件	32件	83件	106件	1,088件	1,219件	89.3%
前年同期	906件	22件	25件	106件	160件	1,219件		
前年比	92.3%	140.9%	128.0%	78.3%	66.3%	89.3%		

所在：特定資料の有無、所蔵機関の調査

書誌的事項：書名、著者名、出版社、出版年、巻次の調査

文献：一定主題についてどんな文献があるか

事実：軽微な質問で回答そのものを与えるような調査

その他：左記以外で類縁機関の紹介等含む

〈4〉 館内利用サービス

① 各サービス利用者数(館内)

	利用者数	前年同期	前年比			
学習コーナー	10,734人	8,192人	131.0%			
PCコーナー	1,251人	838人	149.3%			
タブレットPC	38人	0人	前年より+38	中央図書館 利用数	利用率	前年同期
試聴コーナー	9人	5人	180.0%			
自動貸出機	14,301人	14,001人	102.1%	37,279人	38.4%	37.5%
	49,635冊	49,870冊	99.5%	110,351冊	45.0%	44.3%

※23.7月よりタブレットPC貸出開始

②学習室利用者数

	上半期	前年同期	前年比
開室回数	46回	0回	前年より+46
利用人数	449人	0人	前年より+449

※7月21日(金)より再開

〈5〉 障がい者サービス

テープ・デジ―図書貸出  
対面朗読

	上半期	前年同期	前年比
タイトル数	584タイトル	719タイトル	81.2%
巻数	584巻	719巻	
人数	0人	0人	-
時間	0時間	0時間	-

〈6〉 リクエストサービス業務

	23,793件	23,034件	103.3%
--	---------	---------	--------

〈7〉 複写サービス業務

	802件	807件	99.4%
--	------	------	-------

〈8〉 読書通帳発行数

	44冊	49冊	89.8%
--	-----	-----	-------

〈9〉 朗読集会室の利用

利用件数	38件	26件	146.2%
利用人数	163人	78人	209.0%

〈10〉 自主事業

① 企画展示

月	展示のテーマ	貸出冊数
4	「エッセイコレクション『よしなしごと』」	376
	「躍動する植物」	213
	「目指せ！情報弱者からの脱却」	81
	「貧困をなくそう/飢餓をゼロに(児童)」	12
	「Do It Yourself!!(YA)」	171
	「4月が誕生月の作家」(南部分室)	9
	「山梨」(学習センター分室)	11
	「石川」(西部分室)	2
5	「さあ！旅に出よう『おうちで旅気分』」	273
	「さあ！旅に出よう『外に出るって楽しい！』」	209
	「修理・メンテナンスのススメ」	88
	「すべての人に健康と福祉を(児童)」	27
	「Enjoy School Days(YA)」	268
	「5月が誕生月の作家」(南部分室)	12
	「鹿児島」(学習センター分室)	8
	「愛知」(西部分室)	3
6	「企業・経済小説」	247
	「経営とビジネス書」	226
	「上手な消費活動の実践」	87
	「海の豊かさを守ろう 陸の豊かさを守ろう(児童)」	21
	「怪を読む(YA)」	153
	「6月が誕生月の作家」(南部分室)	21
	「鳥取」(学習センター分室)	5
	「山梨」(西部分室)	4
7	「カラフルな物語」	225
	「開」	308
	「住み続けられるまちづくり(児童)」	10
	「君の宿題助け隊(YA)」	125

月	展示のテーマ	貸出冊数
7	「夏休み課題図書・すいせん図書」	81
	「『図書館を使った調べる学習コンクール』受賞作品レプリカ展示」	3 ※1
	「2023年夏 この本よんで～ページをめくればドキドキワクワク～パネル展示」	— ※2△
	「この本よんで おすすめ本の展示 グリーンリスト」	11 △
	「この本よんで おすすめ本の展示 ブルーリスト」	9 △
	「北本の子どもの本のスペシャリストたちが今年選んだ本 33冊」	33 △
	「7月が誕生月の作家」(南部分室)	8
	「茨城」(学習センター分室)	8
	「犬・猫対決！あなたはどっち派？」	184
	「『その日』の前に備える！」	110
8	「君の宿題助け隊(YA)」	145
	「夏休み課題図書・すいせん図書」	64
	「『図書館を使った調べる学習コンクール』受賞作品レプリカ展示」	5 ※1
	「この本よんで おすすめ本の展示 グリーンリスト」	46 △
	「この本よんで おすすめ本の展示 ブルーリスト」	14 △
	「北本の子どもの本のスペシャリストたちが今年選んだ本 33冊」	60 △
	「8月が誕生月の作家」(南部分室)	13
	「和歌山」(学習センター分室)	4
	「鳥取」(西部分室)	2
	「読む介護・闘病記」	164
9	「認知症とは何か」	177
	「敬老の日 読書のすすめ2023」	275
	「質の高い教育をみんなに(児童)」	30
	「図書館保健室(YA)」	98
	「9月が誕生月の作家」(南部分室)	11
	「新潟」(学習センター分室)	6
	「茨城」(西部分室)	1
合 計		4,757

※1 展示用

※2 北本子どもの本を楽しむ会・北本市子ども文庫連絡会との協働開催で展示しているため  
カウントなし。

△ 北本子どもの本を楽しむ会・北本市子ども文庫連絡会との協働開催の企画展示。

② イベント・催し物

番号	日時	事業名	内容
1	5月21日(日) 14:00 ～ 16:00	図書館歴史講座 「清水卯三郎 ナボ レオン3世から銀メ ダルを授与された商 人」	場所:北本市文化センター 第3会議室 参加人数:45名 講師:今井 博昭氏 内容:幕末から明治の激動の時代に生きた羽生市出身の清水卯三郎の生涯と、数々の功績をたどった。その中で短編映画も上映した。(埼玉新聞社の取材があり、5月24日に掲載された)
2	6月14日(水)	蔵書点検	場所:北本市立中央図書館、南部分室、西部分室、学習センター分室 内容:書架資料と図書館システムの蔵書データを照合することで判明した不明資料のリストを作成し、教育委員会へ報告。 不明資料 4冊(前年 13冊、前年比 30.7%)
	6月19日(月)	図書館図書資料の 除籍、廃棄	場所:北本市立中央図書館、南部分室、西部分室、学習センター分室 内容:経年により汚損・破損した図書資料及び利用頻度が著しく乏しくなり閉架書庫へ移動した図書資料について選別し、廃棄リストを作成。教育委員会へ提出・報告し、除籍・廃棄、なお廃棄する資料についてはリサイクルに努めている。 図書資料 3,748冊(蔵点不明3回以上含む) 雑誌 1,513冊
3	6月4日(日) 14:00 ～ 16:00	わくわく工作教室	場所:北本市文化センター 第2研修室 参加人数:29名(子ども17名・大人12名) 内容:北本市立中央図書館スタッフが講師となり、ペーパーの芯を使った指人形とつるし飾りの工作会を実施。
4	7月2日(日) 14:00 ～ 15:30	「北本怪談がたり桜 の怪異が残る町」	場所:北本市文化センター 展示ホール 参加人数:29名 講師:北城 椿貴氏(怪談師) 内容:怪談師の北城椿貴氏を迎え、北本にまつわる怪談話をしていただいた。 (毎日新聞・彩の国芸術劇場の取材あり:関係者10名ほどが見学)
5	7月14日(金) ～ 7月31日(月)	図書館クイズ× ひゃっか王からの挑 戦状	場所:北本市立中央図書館 参加人数:のべ33名 内容:スタッフが作成した郷土資料など図書館の資料を使う問題を3問、ポプラ社の百科事典『ポプラディア』を利用する問題を1問、合計4問を用意し、子どもたちに解いてもらう。解いた問題数によって粗品をプレゼントする。夏休み期間中は継続。
6	7月21日(金) 7月31日(月) 14:00 ～ 15:30	「第8回 北本市 図 書館を使った調べる 学習コンクール」支 援講座	場所:北本市文化センター 朗読集会室 7月21日:参加人数7名(子ども4名 大人3名) 7月31日:参加人数14名(子ども9名 大人5名) 計21名(子ども13名 大人8名) 内容:北本市立中央図書館スタッフによる「第8回 北本市 図書館を使った調べる学習コンクール」支援講座を行なった。調べる学習攻略本(自由研究のすすめ方ガイド)を使い、作品のテーマの決め方、調べ方、まとめ方のポイントを説明した。
7	8月1日(火) ～ 8月31日(木)	図書館クイズ× ひゃっか王からの挑 戦状	場所:北本市立中央図書館 参加人数:のべ71名 内容:スタッフが作成した郷土資料など図書館の資料を使う問題を3問、ポプラ社の百科事典『ポプラディア』を利用する問題を1問、合計4問を用意し、子どもたちに解いてもらう。解いた問題数によって粗品をプレゼントした。(7月からの延べ参加人数は104名)
8	9月7日(木) 14:00 ～ 15:30	図書館趣味・暮らし 講座 「認知症について～ 『認知症』と『もの忘 れ』の違いを知って いますか?～」	場所:文化センター 第3会議室 参加人数:29名 講師:北本市役所高齢介護課職員 内容:認知症の基礎知識・早期発見のポイント、家族の介護のサポートについて、市が行なっている取り組みや介護施設などの紹介も含めて解説。

③ 北本市立中央図書館講師派遣事業

番号	日時	事業名	内容
1	9月7日(木) 13:30 ～ 15:30	絵本セラピーワー クショップ ～大人のための絵 本とコーチング～	場所:幸手市立図書館(幸手市) 参加人数:11名 講師:北本市立中央図書館スタッフ(絵本セラピスト協会認定絵本セラピスト) 内容:家庭や職場でよりよい人間関係を築くために、絵本セラピストの資格を持つ北本市立中央図書館のスタッフが、効果的なコミュニケーションの方法を伝授する講座。
2	9月14日(木) 9:30 ～ 11:30	図書館員と考える 整理収納講座	場所:南部公民館(北本市) 参加人数:26名 講師:北本市立中央図書館スタッフ 内容:整理収納アドバイザーの資格を持つ北本市立中央図書館のスタッフが、図書館司書の視点から、整理収納のコツを伝授する講座(「けやき学級」の一環)。

④ 学校との提携

番号	実施日	案件	活動内容
1	8月1日(火) ～ 8月2日(水)	職場体験	埼玉県立特別支援学校瑞保己一学園から男子生徒1名を受入れ、中央図書館・子ども図書館で、本の配架、新刊装幀、雑誌登録、おはなし会などの図書館業務を実際に体験してもらった。

## (11) 資料統計(受入除籍等含数) (上半期)

## ① 資料統計

中央図書館(3分室含)

前年度末 所蔵数	上半期増減点数							上半期 増減	上半期 所蔵数
	購入	寄贈	自館作成	弁償	移管	廃棄			
157,527	3,543	114	3	9	-53	-5,261	-1,645	155,882	

## ②種別資料統計

資料種別	所蔵館	前年度末 所蔵数	購入	寄贈	自館 作成	弁償	移管	廃棄	上半期 増減	上半期所 蔵数
一般書	中央	84,335	1,819	43	0	2	138	-2,451	-449	83,886
	南部分室	5,092	117	5	0	1	72	-180	15	5,107
	西部分室	2,675	147	1	0	1	-128	-95	-74	2,601
	学習七分室	4,112	134	2	0	0	-93	-126	-83	4,029
	小計	96,214	2,217	51	0	4	-11	-2,852	-591	95,623
児童書	中央	21,292	209	7	0	0	41	-200	57	21,349
	南部分室	5,738	28	0	0	0	-16	-10	2	5,740
	西部分室	3,175	22	0	0	0	-52	-49	-79	3,096
	学習七分室	3,790	27	0	0	0	-33	-8	-14	3,776
	小計	33,995	286	7	0	0	-60	-267	-34	33,961
文庫・新書	中央	11,605	223	1	0	4	33	-88	173	11,778
	南部分室	329	20	0	0	0	0	-6	14	343
	西部分室	110	5	0	0	0	16	-1	20	130
	学習七分室	150	13	0	0	0	-28	-3	-18	132
	小計	12,194	261	1	0	4	21	-98	189	12,383
年鑑・白書 ・遂次刊行物	中央	2,832	28	21	0	0	-3	-500	-454	2,378
	南部分室	16	0	2	0	0	0	-5	-3	13
	西部分室	16	0	2	0	0	0	-5	-3	13
	学習七分室	18	0	2	0	0	0	-6	-4	14
	小計	2,882	28	27	0	0	-3	-516	-464	2,418
雑誌	中央	6,969	644	20	0	1	284	-1,513	-564	6,405
	南部分室	347	42	0	0	0	-227	0	-185	162
	西部分室	80	23	0	0	0	-23	0	0	80
	学習七分室	70	39	0	0	0	-34	0	5	75
	小計	7,466	748	20	0	1	0	-1,513	-744	6,722
紙芝居	中央	7	0	0	0	0	0	0	0	7
	南部分室	242	1	0	0	0	0	0	1	243
	西部分室	157	1	0	0	0	0	0	1	158
	学習七分室	157	1	0	0	0	0	0	1	158
	小計	563	3	0	0	0	0	0	3	566
カセット	中央	319	0	0	0	0	0	-12	-12	307
C D	中央	3,276	0	0	0	0	0	-3	-3	3,273
テープ・ ダイジ-図書	中央	580	0	7	3	0	0	0	10	590
点字図書	中央	38	0	1	0	0	0	0	1	39
合計		157,527	3,543	114	3	9	-53	-5,261	-1,645	155,882

③館別・種別資料統計

	前年度末 所蔵数	購入	寄贈	自館 作成	弁償	移管	廃棄	上半期 増減	上半期 所蔵数
中央図書館	131,253	2,923	100	3	7	493	-4,767	-1,241	130,012
南部分室	11,764	208	7	0	1	-171	-201	-156	11,608
西部分室	6,213	198	3	0	1	-187	-150	-135	6,078
学習セ分室	8,297	214	4	0	0	-188	-143	-113	8,184
合計	157,527	3,543	114	3	9	-53	-5,261	-1,645	155,882

〈12〉書籍除菌機 リヴァー利用回数

	上半期	前年同期	前年比
利用回数	7,570回	8,655回	87.5%
利用者数	36,673人	36,643人	100.1%
利用率	20.6%	23.6%	87.3%

〈13〉中央図書館夜間業務状況(平成27年1月より開館時間延長:閉館19:00⇒21:00)

	上半期	前年同期	前年比
夜間利用者数(人)	2,048人	1,768人	115.8%
夜間貸出冊数(冊)	6,722冊	5,930冊	113.4%

〈14〉システム関係

番号	日時	内容	対応結果(または予定)
1	8月19日(土)	図書館システム LiCS動作不具合 (9:15頃～10:00)	オフラインで対応。 原因は調査中

2. 貸館利用状況 (令和5年度上半期)・・・期間中の利用件数と利用者人数(申告)

月	開館 日数	ホール		プラネタリウム		第1研修室		第2研修室		第3研修室		第4研修室		制作室		展示ホール	
		件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
4月	29	28	1,881	64	427	57	718	43	460	36	327	24	197	9	75	31	401
5月	30	30	2,252	71	430	55	603	46	493	41	389	28	256	10	87	17	136
6月	29	25	2,560	73	1,005	60	734	58	585	40	428	15	105	12	107	34	543
7月	30	43	2,816	94	964	57	632	53	470	45	436	21	160	28	213	15	284
8月	30	20	1,201	138	1,679	51	695	48	451	58	431	19	148	7	61	19	381
9月	29	22	956	50	277	65	703	50	480	44	319	18	126	7	37	31	325
上半期計	177	168	11,666	490	4,782	345	4,085	298	2,939	264	2,330	125	992	73	580	147	2,070
前年比(%)	100.0	86.6	109.1	87.7	114.7	94.3	106.9	108.0	107.5	114.3	95.7	107.8	125.1	83.9	74.5	138.7	99.4
利用率		31.6%		71.0%		65.0%		56.1%		49.7%		23.5%		13.7%		31.2%	
前上期利用率		36.2%		63.2%		68.9%		52.0%		43.5%		21.8%		16.4%		20.0%	

月	児童室		第1会議室		第3会議室		第4会議室		第5会議室		和室		練習室		1-3研・4-5会		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
4月	0	0	23	975	46	815	32	458	46	498	47	600	69	777	214	2,461	555	8,609
5月	0	0	36	1,688	46	997	42	352	39	318	42	360	70	723	223	2,155	573	9,084
6月	0	0	28	880	56	1,238	41	326	42	342	49	426	71	772	241	2,415	604	10,051
7月	0	0	34	1,476	50	863	40	343	48	327	44	369	70	778	243	2,208	642	10,131
8月	0	0	25	698	48	946	38	329	43	362	34	243	71	634	238	2,268	619	8,259
9月	0	0	26	631	50	1,017	37	267	35	265	40	334	72	770	231	2,034	547	6,507
上半期計	0	0	172	6,348	296	5,876	230	2,075	253	2,112	256	2,332	423	4,454	1,390	13,541	3,540	52,641
前年比(%)	0.0	0.0	96.1	110.4	111.7	108.8	102.7	98.9	112.4	113.3	92.4	95.8	119.8	141.8	105.1	104.5	101.7	109.1
利用率	0.0%	32.4%		55.7%		43.3%		47.6%		48.2%		79.7%		52.4%		41.4%		
前上期利用率	4.1%	33.7%		49.9%		42.2%		42.4%		52.2%		66.5%		49.8%		39.3%		

■利用率=(利用件数)÷(開館日×3件×利用室数) 展示ホールは月曜日休館  
プラネタリウムの場合は対投影機数

3. 貸館料金収納実績

①貸館予約収納金額・・・期間中の有料での利用予約(申込)の収納金額(税込)

ホールは1年前、会議室等は6ヶ月前から予約可。

月	研修室会議室		ホール		附属設備		プラネタリウム		予約収納合計	
	収納金額 (円)	前年比 (%)	収納金額 (円)	前年比 (%)	収納金額 (円)	前年比 (%)	収納金額 (円)	前年比 (%)	収納金額 (円)	前年比 (%)
4月	828,500	95%	237,100	145%	230,600	86%	64,950	213%	1,361,150	102%
5月	454,000	91%	234,500	161%	214,100	182%	49,650	83%	952,250	116%
6月	508,000	117%	332,300	87%	240,900	144%	60,900	182%	1,142,100	112%
7月	508,000	132%	125,400	52%	175,100	105%	115,260	127%	923,760	105%
8月	526,000	136%	268,350	189%	78,900	29%	228,620	138%	1,101,870	114%
9月	553,000	110%	167,800	108%	121,800	63%	42,800	107%	885,400	99%
上半期	3,377,500	110%	1,365,450	111%	1,061,400	89%	562,180	134%	6,366,530	108%

② 予約外設備収納金額

月	印刷代		公衆電話		コピー機		利用再交付 /読書通帳		その他		予約外収納合計		総合計 (料金返還含む)	
	収納金額 (円)	前年比 (%)	収納金額 (円)	前年比 (%)	収納金額 (円)	前年比 (%)	収納金額 (円)	前年比 (%)	収納金額 (円)	収納金額 (円)	前年比 (%)	収納金額 (円)	前年比 (%)	
4月	5,290	97%	1,080	270%	20,520	84%	500	125%	0	27,390	89%	1,388,540	101%	
5月	5,100	352%	910	95%	15,150	110%	100	20%	0	21,260	127%	973,510	116%	
6月	1,230	141%	890	74%	22,700	137%	600	300%	0	25,420	135%	1,167,520	113%	
7月	2,700	83%	1,040	165%	16,270	96%	400	100%	0	20,410	96%	944,170	104%	
8月	430	78%	650	163%	14,900	103%	0	0%	0	15,980	100%	1,117,850	113%	
9月	2,990	181%	2,620	21%	17,620	131%	100	25%	0	23,330	144%	908,730	100%	
上半期	17,740	134%	7,190	168%	107,160	107%	1,700	65%	0	133,790	112%	6,500,320	108%	

(2) 図書館アンケート

図書館趣味・暮らし講座

認知症について～「認知症」と「もの忘れ」の違いを知っていますか？～

実施日：2023.9.7

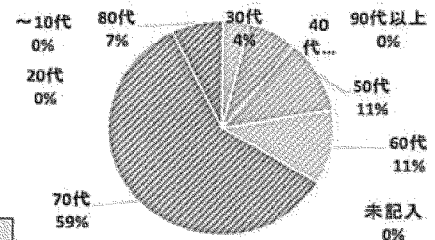
参加人数：29人 アンケート回収：27人 (回収率：93%)

1. 年齢

～10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	未記入	計
0	0	1	2	3	3	16	2	0	0	27

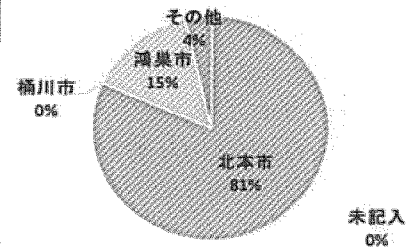
2. お住まいの地域は？

北本市	桶川市	鴻巣市	その他	未記入	計
22	0	4	1	0	27



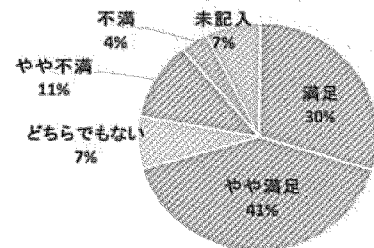
3. 今回の講座の全体的な内容について、ご満足いただけましたか？

満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	未記入	計
8	11	2	3	1	2	27



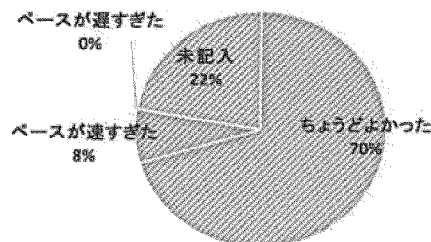
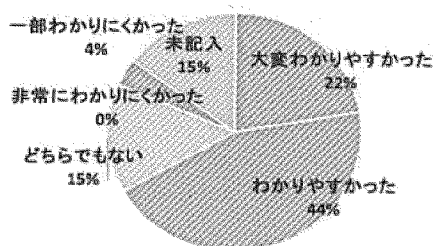
4. 今回の講座の内容について、ご意見をお聞かせください。

大変わかりやすかった	わかりやすかった	どちらでもない	一部わかりにくかった	非常にわかりにくかった	未記入	計
6	12	4	1	0	4	27



5. 進行のスピードについて、ご意見をお聞かせください。

ちょうどよかった	ペースが速すぎた	ペースが遅すぎた	未記入	計
19	2	0	6	27



6. 今回の講座の満足な点・ご不満な点をご自由にご記入ください。

- ・資料がもらえてよかった。
- ・再学習になった。
- ・時間もちょうどよかった。
- ・いろいろな認知症について聞いたかった。また、その対処法を知りたかった。
- ・認知症の予防について、また食事についてもっとくわしく。



- ・スライドなどを活用して、より立体的に話された方がよかったと思う。
- ・聞きとりやすい話し方で話を理解できた。
- ・講座の前半聞きづらかった。後半は良好だった。
- ・聞き取りずらかった。(同意見 3件)
- ・休憩時間がほしかった。

7. その他、感想やご意見があればご記入ください。

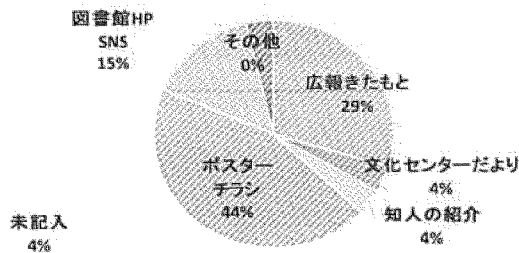
- ・ありがとうございました。
- ・大変わかりやすかった。
- ・今後も続けてほしい。
- ・認知症と物忘れの違いをもっと細かく教えてほしかった。(事例を挙げて)
- ・人と話をすること、運動すること、食生活などが大切だと聞いたので、自分自身気をつけようと思った。

8. 今後の図書館講座について、具体的なご要望がございましたらご記入ください。

- ・本の紹介。利用します。
- ・相続、遺言、後見人制度について。(同意見 2件)
- ・猛暑の理由(原因)、そのメカニズム。私たちにできる対策。
- ・脊柱管狭窄症の治療法。
- ・糖尿病について。
- ・歯周病について。
- ・LGBTについて。
- ・未就学児の子育てについて。
- ・映画上映(若年性認知症の映画『オレンジ・ランプ』)

9. 今回の講座をどのように知りましたか？

広報きたもと	文化センターだより	知人の紹介	ポスターチラシ	図書館HP SNS	その他	未記入	計
8	1	1	12	4	0	1	27



図書館趣味・暮らし講座

認知症について～「認知症」と「もの忘れ」の違いを知っていますか？～

このアンケートは、今後の図書館における講座開催やPR活動の参考にさせていただくものです。  
ぜひ、ご協力をお願いいたします。

※ 当てはまる番号に○を付けてください。(各問に1つずつ回答してください)

問1：年齢

1. ～10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代 6. 60代 7. 70代  
8. 80代 9. 90代以上

問2：お住まいの地域は？

1. 北本市 2. 桶川市 3. 鴻巣市 4. その他( )

問3：今回の講座の全体的な内容について、ご満足いただけましたか？

1. 満足 2. やや満足 3. どちらでもない 4. やや不満 5. 不満

問4：今回の講座の内容について、ご意見をお聞かせください。

1. 大変わかりやすかった 2. わかりやすかった 3. どちらでもない  
4. 一部わかりにくかった 5. 非常にわかりにくかった

問5：進行のスピードについて、ご意見をお聞かせください。

1. ちょうどよかった 2. ペースが速すぎた 3. ペースが遅すぎた

問6：今回の講座の満足な点・ご不満な点をご自由にご記入ください。

問7：その他、感想やご意見があればご記入ください。

問8：今後の図書館講座について、具体的なご要望がございましたらご記入ください。

問9：今回の講座をどのように知りましたか？

1. 広報きたもと 2. 文化センターだより 3. 知人の紹介 4. ポスター・チラシ  
5. 図書館ホームページ・SNS 6. その他( )

ご協力、誠にありがとうございました。この用紙はお帰りの際、アンケート回収箱へお入れください。  
北本市文化センター指定管理者 acTrC 北本ネットワーク

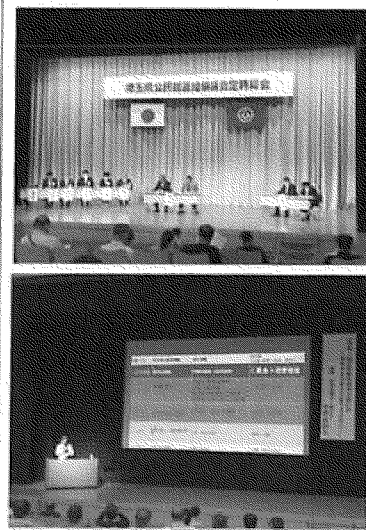
11. その他

(1) 目標利用者数達成状況（事業計画書より、令和5年度上半期）

	年間目標 利用者数 A	実績累計 B	年間達成率 C=B/A	上半期 前年度比
公民館事業 自主文化事業	7,000人	3,737人	53.4%	103.6%
プラネタリウム 事業	5,700人	4,782人	83.9%	114.7%
図書館事業	210,000人	105,138人	50.1%	106.3%
合計	222,700人	113,657人	51.0%	106.5%

(2) 研修（令和5年度上半期）

No	年月日	研修	内容
1	4月1日(土) ～ 4月30日(日)	㈩東急コミュニティー プラネタリウム新人研修	内容：プラネタリウム生解説投影
2	5月1日(月) ～ 5月31日(水)	㈩東急コミュニティー プラネタリウム新人研修	内容：プラネタリウム生解説投影
3	5月10日(水)	㈩東急コミュニティー スタッフ内回覧 安全衛生教育	回覧対象者：㈩東急コミュニティースタッフ全員17名 回覧による㈩東急コミュニティーの2023年4月 安全衛生教育 労災、長時間労働、KYT(危険予知訓練)、安全パトロール、業務災害発生状況、禁煙 の取り組み、ストレスチェック、薬と上手な付き合い方、安全衛生月次テーマ
4	5月15日(月)	令和5年度 南部地区人権教育実践報告 会 第1回実行委員会	参加者：アクティオ関北本市文化センター事業部長 開催場所：浦和合同庁舎5階講堂 南部教育事務所 7/28(金)稲川市響きの森 開催「令和5年度 南部地区人権教育実践報告会」実施概要・ 担当の確認任命。
5	5月25日(木)	㈩東急コミュニティー スタッフ内回覧 安全衛生教育	回覧対象者：㈩東急コミュニティースタッフ全員17名 回覧による㈩東急コミュニティーの2023年5月 安全衛生教育 労災、長時間労働、KYT(危険予知訓練)、安全パトロール、令和5年度全国安全週間 実施要領、熱中症に気をつけよう、歯の健康、「6月病」
6	5月30日(火) ～ 5月31日(水)	㈩東急コミュニティー 甲種防火管理者研修	参加者：文化センター所長 内容：一般財団法人日本防火・防災協会による防火管理者に必要な講習、テスト等。 ※4月1日の人事異動により、6月1日付で、文化センター防火管理者が前任者から変 更。消防署届出済。
7	6月1日(木) ～ 6月30日(金)	㈩東急コミュニティー プラネタリウム新人研修	内容：プラネタリウム生解説投影
8	6月1日(木)	埼玉県公民館 連絡協議会定時総会	受講者：文化センター所長1名 受講場所： 行田市教育文化センターみらい 内容：協議会の事業報告、監査報告、 予算案承認、講演会等 講演会講師：気象予報士 平井 信行氏



No	年月日	研修	内容
9	6月15日(木) 6月18日(日) 6月25日(日) 6月30日(金)	図書館研修	受講者：隣図書館流通センター館長代理1名 受講場所：北本市立中央図書館の事務室(eラーニング) 講師名：社内講師 「新任責任者研修」に参加。チームの役割や心がまえ・労務管理等の基礎・図書館の収支管理・個人情報保護研修等を受講。
10	6月23日(金)	隣東急コミュニティー スタッフ内回覧 安全衛生教育	回覧対象者：隣東急コミュニティースタッフ全員17名 回覧による隣東急コミュニティーの2023年6月 安全衛生教育 労災、長時間労働、KYT(危険予知訓練)、安全パトロール、2023年度全国安全週間実施要領、STOP転倒災害、新型コロナウイルス感染症対策、安全運転教育、大雨・台風 に備えての防災対策・避難行動、食中毒の予防と対応、紫外線対策
11	6月28日(水)	隣東急コミュニティー スタッフ内回覧 コンプライアンス教育	回覧対象者：隣東急コミュニティースタッフ全員17名 隣東急コミュニティーの2023年4月度コンプライアンスシート回覧による研修 コンプライアンス(企業倫理)、メール利用に関する注意等
12	7月1日(土) 7月31日(月)	隣東急コミュニティー プラネタリウム新人研修	内容：プラネタリウム生解説投影
13	7月14日(金) 7月18日(火)	図書館研修	受講者：隣図書館流通センタースタッフ2名 受講場所：北本市立中央図書館の事務室(eラーニング) 講師名：社内講師 「図書館でのSNS web活用」に参加。館におけるイベント実例を例にあげ、効果的な事前告知や事後レポートの作り方、配信方法についてweb上に掲載するまでを順をおって学ぶ。
14	7月16日(日) 7月25日(火)	図書館研修	受講者：隣図書館流通センタースタッフ3名 受講場所：北本市立中央図書館の事務室(eラーニング) 講師名：社内講師 「図書館の広報」に参加。 図書館における広報の目的や手法、媒体ごとの特性などを確認し、効果的な広報のあり方を、実技を通して学ぶ。
15	7月16日(日) 7月19日(水)	図書館研修	受講者：隣図書館流通センタースタッフ2名 受講場所：北本市立中央図書館の事務室(eラーニング) 講師名：社内講師 「ビジネスメールの基礎」に参加。 基本的な構成やファイル添付の際の注意点、効果的な件名のつけ方、返信や回答を求める際のポイント等、ビジネスメールの基礎を学ぶ。
16	7月16日(日)	図書館研修	受講者：隣図書館流通センタースタッフ1名 受講場所：北本市立中央図書館の事務室(eラーニング) 講師名：社内講師 「調べ学習支援～キーワードをみつける手がかりとしての「ことば」を広げる～」に参加。 調べ学習対応する中で、「うまく聞き出せない」「本が見つからない」をターゲットに、「キーワードをみつける手がかりとなる”ことば探し”の方法を学ぶ。
17	7月18日(火)	図書館研修	受講者：隣図書館流通センタースタッフ2名 受講場所：北本市立中央図書館の事務室(eラーニング) 講師名：社内講師 「図書館が輝くための書架づくり」に参加。 図書館の書架づくりについて、那須塩原市図書館「みるる」の事例を交えて学ぶ。
18	7月26日(水)	隣東急コミュニティー スタッフ内回覧 安全衛生教育	回覧対象者：隣東急コミュニティースタッフ全員17名 回覧による隣東急コミュニティーの2023年7月 安全衛生教育 労災、長時間労働、KYT(危険予知訓練)、安全パトロール、定期健診受診のすすめ、健康サポートダイヤル、夏場の労働安全
19	7月27日(木)	図書館研修	受講者：隣図書館流通センタースタッフ1名 受講場所：北本市立中央図書館の事務室(eラーニング) 講師名：社内講師 「高齢者サービス：認知症にやさしい図書館」に参加。 超高齢化社会にあって、公共図書館においても、高齢者はひとつの独立した利用者区分ととらえ、高齢者に対する公共図書館のサービスの可能性を探る。
20	7月27日(木)	図書館研修	受講者：隣図書館流通センタースタッフ1名 受講場所：北本市立中央図書館の事務室(eラーニング) 講師名：社内講師 「感情(怒り)のマネジメント～より良いコミュニケーションに繋げるために」に参加。 周囲とのよりよいコミュニケーションを図るため、感情のメカニズムや怒りのタイプ、また自身の傾向を知って、「怒り」という強い感情に振り回されないスキルを身に着ける。
21	7月28日(金)	図書館研修	受講者：隣図書館流通センタースタッフ1名 受講場所：北本市立中央図書館の事務室(eラーニング) 講師名：社内講師 「本の紹介文の書き方」に参加。 児童書を中心に、本の魅力を引き出し読み手の心をとらえる紹介文の書き方を紹介。 「どうしたらもっとよくなる？」という視点から紹介文の実例を見ながら学んだ。
22	7月28日(金)	南部地区 人権教育実践報告会	参加者：北本市文化センター事業部長1名 会 場：響の森・桶川市民ホール・さいたま文学館 内 容：各校代表生徒による人権作文発表、表彰式、人権教育実践報告分科会等 参加分科会：同和問題

No	年月日	研修	内容
23	8月1日(火) ～ 8月31日(木)	㈱東急コミュニティー プラネタリウム新人研修	内容：プラネタリウム生解説投影
24	8月4日(木)	図書館研修	受講者：㈱図書館流通センタースタッフ1名 受講場所：北本市立中央図書館の事務室(eラーニング) 「スウェーデンの図書館事情」を受講。スウェーデンの図書館と日本の図書館の差異を学ぶ。
25	8月7日(月) 8月8日(火)	図書館研修	受講者：㈱図書館流通センタースタッフ1名 受講場所：北本市立中央図書館の事務室(eラーニング) 「ネットワーク時代のレファレンスサービス」に参加。レファレンスサービスの実施状況、利用動向を概観するとともに、具体的なサービスの手法や検索の実例を学ぶ。
26	8月8日(火)	図書館研修	受講者：㈱図書館流通センタースタッフ2名 受講場所：北本市立中央図書館の事務室(eラーニング) 「図書館が輝くための書架づくり」に参加。 図書館の書架づくりについて、那須塩原市図書館「みるる」の事例を交えて学ぶ。
27	8月13日(日)	図書館研修	受講者：㈱図書館流通センタースタッフ1名 受講場所：北本市立中央図書館の事務室(eラーニング) 「報告書作成入門」に参加。企画書、報告書、広報などの文書作成法について学ぶ。
28	8月13日(日)	図書館研修	受講者：㈱図書館流通センタースタッフ1名 受講場所：北本市立中央図書館の事務室(eラーニング) 「レファレンスブックの活用」に参加。資料の根拠の提示や調査で知っておきたいレファレンスブックなどを紹介。
29	8月14日(月)	図書館研修	受講者：㈱図書館流通センタースタッフ1名 受講場所：北本市立中央図書館の事務室(eラーニング) 「図書館の広報とデザイン」に参加。図書館における広報について、デザインの観点から学ぶ。
30	8月14日(月)	図書館研修	受講者：㈱図書館流通センタースタッフ1名 受講場所：北本市立中央図書館の事務室(eラーニング) 「TOOLi検索講座」に参加。多角的な視点から図書を探せるよう、TOOLi検索画面の基本や、周辺ファイル、各種の検索機能等について学ぶ。
31	8月20日(日)	図書館研修	受講者：㈱図書館流通センタースタッフ1名 受講場所：北本市立中央図書館の事務室(eラーニング) 「選書4：児童書選書」に参加。選書眼を身につけるポイントや、ツールなどを紹介。児童書の特性や選書にあたっての注意事項、購入に向けての流れなどを具体例と共に学ぶ。
32	8月20日(日)	図書館研修	受講者：㈱図書館流通センタースタッフ1名 受講場所：北本市立中央図書館の事務室(eラーニング) 「本の紹介文の書き方」に参加。 児童書を中心に、本の魅力を引き出し読み手の心をとらえる紹介文の書き方を紹介。「どうしたらもっとよくなる？」という視点から紹介文の実例を見ながら学ぶ。
33	8月22日(火)	図書館研修	受講者：㈱図書館流通センタースタッフ2名 受講場所：北本市立中央図書館の事務室(eラーニング) 「図書館スタッフのための文章講座」に参加。 文章作成時、だれにでも読みやすく、わかりやすい文章を書くためにはどうしたらよいかを学ぶ。
34	8月22日(火) 8月25日(金)	図書館研修	受講者：㈱図書館流通センタースタッフ2名 受講場所：北本市立中央図書館の事務室(eラーニング) 「著作権-原則と適用-」に参加。著作権制度を概観し、図書館における著作物の取り扱いや複製サービスの注意点について学ぶ。
35	8月24日(木)	㈱東急コミュニティー スタッフ内回覧 安全衛生教育	回覧対象者：㈱東急コミュニティースタッフ全員17名 回覧による㈱東急コミュニティーの2023年8月 安全衛生教育 労災、長時間労働、KYT(危険予知訓練)、安全パトロール、令和5年度秋の全国交通安全運動推進要綱、保険紙コーナー～働く私たちと睡眠～、令和5年度全国労働衛生週間実施、スタミナがつく食事
36	9月1日(金) ～ 9月30日(土)	㈱東急コミュニティー プラネタリウム新人研修	内容：プラネタリウム生解説投影
37	9月5日(火) 9月8日(金)	図書館研修	受講者：㈱図書館流通センタースタッフ2名 受講場所：北本市立中央図書館の事務室(eラーニング) 「図書館スタッフのための文章講座」に参加。 文章作成時、だれにでも読みやすく、わかりやすい文章を書くためにはどうしたらよいかを学ぶ。
38	9月5日(火)	自衛消防訓練	時間：10:00～11:00 場所：文化センター、本町公園(避難先) 参加者：中央公民館12名、中央図書館2名、清掃員4名、利用者12名 開始時間がいつもより遅くしたため利用者の参加が増えた 内容： 文化センター全体での消防訓練を実施した(今年度1回目、新所長初指揮)。 開館時間に2階給湯室より出火したという設定で、発報後の監視盤や緊急放送装置の操作、火元の特定、初期消火、119番通報、避難誘導及び避難確認等の一連の行動を行った(北本消防署立ち会い)。 くつづく

No	年月日	研修	内容	
38	9月5日(火)	自衛消防訓練	<火災報知器発報> 	<非常放送> 
			<初期消火活動> 	<避難誘導> 
39	9月7日(木)	事業課題解決管理職研修 <東急コミュニティー>	受講者：文化センター所長 受講場所：オンライン 現場や会社の問題点に意識を向け、実践的な事業課題解決能力及び事業計画作成能力を強化。	
40	9月14日(木)	図書館研修	受講者：県図書館流通センタースタッフ1名 受講場所：北本市立中央図書館の事務室(eラーニング) 「スウェーデンの図書館事情」に参加。スウェーデンの図書館と日本の図書館の差異を学ぶ。	
41	9月17日(日)	図書館研修	受講者：県図書館流通センタースタッフ1名 受講場所：北本市立中央図書館の事務室(eラーニング) 「多文化サービスと図書館員の英会話」に参加。多文化サービスのあり方や図書館で使える英会話の基礎を学ぶ。	
42	9月17日(日)	㈱東急コミュニティー スタッフ内回覧 コンプライアンス教育	回覧対象者：㈱東急コミュニティースタッフ全員17名 ㈱東急コミュニティーの2023年7月度コンプライアンスシート回覧による研修 独占禁止法と下請法に係る注意等	
43	9月19日(火)	図書館研修	受講者：県図書館流通センタースタッフ1名 受講場所：北本市立中央図書館の事務室(eラーニング) 「出版流通ー出版業界」に参加。 出版社・取次・書店の現状について整理するとともに、本が読者の手に届くまでの流れを、様々な事例を交えて学ぶ。	
44	9月22日(金)	図書館研修	受講者：県図書館流通センタースタッフ1名 受講場所：北本市立中央図書館の事務室(eラーニング) 「高齢者サービス：認知症にやさしい図書館」に参加。 超高齢化社会にあつて、公共図書館においても、高齢者はひとつの独立した利用者区分ととらえ、高齢者に対する公共図書館のサービスの可能性を探る。	
45	9月29日(金)	㈱東急コミュニティー スタッフ内回覧 安全衛生教育	回覧対象者：㈱東急コミュニティースタッフ全員17名 回覧による㈱東急コミュニティーの2023年9月 安全衛生教育 労災、長時間労働、KYT(危険予知訓練)、安全パトロール、転倒災害の防止、インフルエンザについて、「運動」の最適ライン	
46	9月29日(金)	Diversity, Equity & Inclusion研修 <東急コミュニティー>	受講者：文化センター所長 受講場所：オンライン 多様な人材が置かれている立場や視点を活かし、社会や組織を変えていくためのヒントを得る	

(6) 夜間業務 (令和5年度上半期)

公民館受付夜間延長業務状況

(平成30年4月より受付時間再延長: 17:00~19:30 30分間追加延長)

	予約収納 件数(件)		予約収納 金額(円)		団体 登録 (件)	変更 (件)	受付 合計 (件)
	夜間受付	対全体	夜間受付	対全体			
4月	36	3.5%	121,500	5.3%	2	0	38
5月	41	5.9%	157,000	10.0%	2	0	43
6月	38	5.8%	137,670	5.7%	1	0	39
7月	31	5.3%	42,000	2.1%	0	0	31
8月	29	4.1%	16,900	0.8%	0	0	29
9月	40	5.0%	71,180	3.4%	1	0	41
上期合計	215	4.8%	546,250	4.4%	6	0	221
前年比	117.5%		75%		150.0%	0.0%	110.5%

\*返金対応業務も予約収納の件数と金額に含む(正の金額として加算)

中央図書館夜間業務状況 (19:00~20:00)

	利用者数(人)		貸出冊数(冊)	
	夜間利用 者数(人)	対全体	夜間貸出	対全体
4月	307	4.6%	1,113	5.6%
5月	361	5.4%	1,193	6.1%
6月	307	5.6%	992	6.0%
7月	408	6.0%	1,262	6.3%
8月	345	5.0%	1,100	5.4%
9月	320	5.0%	1,032	5.5%
上期合計	2,048	5.3%	6,692	5.8%
前年比	116%		113%	

# 令和5年度上半期 こども図書館事業報告

資料2

## 1 施設の概要

### (1) 概要

名称	北本市庁舎・北本市立児童館及びこども図書館	
所在地	北本市本町1丁目111番地	
起工	平成24年9月27日	
竣工	平成27年3月30日	
構造	鉄骨造	
規模	階数	地上3階/塔屋1階
	敷地面積	13,511.14㎡
	建築面積	4,614.73㎡
	延床面積	11,043.42㎡

### (2) こども図書館

階数	施設名	床面積
1階	図書館事務室兼書庫	50.2㎡
	図書・閲覧コーナー	155.52㎡
	お話コーナー	27.22㎡
	更衣室	8.13㎡
	倉庫	18.75㎡
	多目的トイレ	33.29㎡
	階段室D(内階段)	28.85㎡
前室	6.08㎡	

### (3) 指定管理者

名称	北本まちづくり共同事業体
指定期間	令和3年4月1日から令和8年3月31日まで
代表企業	街活性室株式会社 所在地 埼玉県鴻巣市逆川1丁目2番2
構成企業	株式会社図書館流通センター 所在地 東京都文京区大塚三丁目1番1号
構成企業	NPO法人 カローレ 所在地 埼玉県鶴ヶ島市上広谷472-10



## 2 業務の実施状況及び利用状況

### (1) 来館者数

#### ①月別来館者数

月	今年度	前年度	前年度との比較	
			人数増減	前年比
4月	4,499	3,396	1,103	132.5%
5月	3,780	3,789	-9	99.8%
6月	3,489	3,242	247	107.6%
7月	5,586	5,297	289	105.5%
8月	5,616	5,576	40	100.7%
9月	3,787	4,466	-679	84.8%
合計	26,757	25,766	991	103.8%

#### ②目標達成状況

目標人数	上半期末来館者数	前年度上半期末来館者数	目標達成率
62,500	26,757	25,766	42.8%

### (2) こども図書館業務報告

#### ①市内利用

		上半期計	前年度上半期	前年比
開館日数		177	177	100.0%
利用者数		10404	9,945	104.6%
(うち自動貸出機利用人数)		3689	3,481	106.0%
貸出 点数	一般書	3602	3,372	106.8%
	児童書	47253	45,978	102.8%
	文庫・新書	129	101	127.7%
	年鑑・白書	0	0	#DIV/0!
	雑誌	1094	1,338	81.8%
	紙芝居	1519	1,392	109.1%
	CD・カセット	300	271	110.7%
	テープ図書・デージー図書	0	0	#DIV/0!
合計		53,897	52,452	102.8%
(うち自動貸出機貸出冊数)		20,750	19,795	104.8%
当期登録者数(人)		231	248	93.1%
現登録者数(人)※1		3,971	3,524	112.7%
読書通帳登録者数	新規	160	189	84.7%
	再発行	74	61	121.3%
	合計	234	250	93.6%
非接触型ICカード登録者数	新規	9	5	180.0%

※現登録者数とは、有効登録者数を示しており、今年度計の欄は年度末の数字となっている。

②広域利用（鴻巣市・桶川市）

	上半期	前年度上半期	前年比	
	2市合計	2市合計		
開館日数	177	177	100.0%	
利用者数	1,728	1,689	102.3%	
(うち自動貸出機利用人数)	526	501	105.0%	
貸出点数	一般書	729	725	100.6%
	児童書	8,691	7,724	112.5%
	文庫・新書	15	12	125.0%
	年鑑・白書	0	0	#DIV/0!
	雑誌	274	268	102.2%
	紙芝居	434	390	111.3%
	CD・カセット	101	109	92.7%
	テープ図書・デジ図書	0	0	#DIV/0!
	合計	10,244	9,228	111.0%
(うち自動貸出機貸出冊数)	3,130	2,804	111.6%	
当期登録者数	74	51	145.1%	
現登録者数	1,243	1,095	113.5%	
読書通帳登録者数	新規	45	25	180.0%
	再発行	7	7	100.0%
	合計	52	32	162.5%
非接触型ICカード登録者数	新規	3	4	75.0%

③個人貸出総計

	今年度計	前年度計	前年比	
利用者数	12,132	11,634	104.3%	
(うち自動貸出機利用人数)	4,215	3,982	—	
貸出点数	64,141	4,097	1565.6%	
(うち自動貸出機貸出冊数)	23,880	53,702	—	
読書通帳登録者数	新規	205	214	95.8%
	再発行	81	68	119.1%
	合計	286	282	101.4%
非接触型ICカード登録者数	新規	12	9	133.3%

④団体貸出

		上半期計	前年度上半期	前年比
開館日数		177	177	100.0%
利用者数		652	606	107.6%
(うち自動貸出機利用人数)		18	17	105.9%
貸 出 点 数	一般書	32	69	46.4%
	児童書	1758	1,598	110.0%
	文庫・新書	3	5	60.0%
	年鑑・白書	19	0	#DIV/0!
	雑誌	342	23	1487.0%
	紙芝居	57	290	19.7%
	CD・カセット	3	10	30.0%
	テープ図書・デージー図書	0	0	#DIV/0!
	合計	2,214	1,995	111.0%
	(うち自動貸出機貸出冊数)	13	53	24.5%
当期登録者数(人)		1	2	50.0%
現登録者数(人)※1		19	16	118.8%

⑤非接触型ICカード新規登録者数

	上半期	前年度上半期	前年比	類計数
北本市	9	5	180.0%	24
広域	3	0	#DIV/0!	7
合計	12	5	#DIV/0!	31

⑥相互貸借協力業務

ア 相互貸借点数

	上半期	前年度上半期	前年比
他市町村へ貸出(点)	159	132	120.5%
他市町村から借受(点)	287	114	251.8%

イ 相互貸借（貸出館及び点数）

	貸出館	今年度計
1	上尾市図書館	3
2	朝霞市立図書館	2
3	朝霞市立図書館北朝霞分館	3
4	伊奈町立図書館	1
5	入間市立図書館	1
6	入間市立図書館西武分館	1
7	小川町立図書館	3
8	桶川市立坂田図書館	2
9	桶川市立中央図書館	9
10	春日部市立中央図書館	4
11	加須市立騎西図書館	1
12	加須市立童謡のふる里おとね図書館	4
13	上里町立図書館	2
14	川口市立中央図書館	14
15	川口市立戸塚図書館	1
16	川口市立鳩ヶ谷図書館	1
17	川口市立前川図書館	1
18	川口市立横曽根図書館	1
19	川越市立川越駅東口図書館	2
20	川越市立高階図書館	2
21	川越市立中央図書館	1
22	川越市立西図書館	1
23	久喜市立中央図書館	1
24	久喜市立鷲宮図書館	2
25	熊谷市立大里図書館	1
26	熊谷市立熊谷図書館	3
27	鴻巣市立鴻巣中央図書館	2
28	鴻巣市立吹上図書館	2
29	越谷市立図書館	8
30	埼玉県立熊谷図書館	1
31	さいたま市立北図書館	2
32	さいたま市立中央図書館	1
33	さいたま市立東浦和図書館	1
34	さいたま市立与野南図書館	2
35	坂戸市立図書館	4
36	幸手市立図書館	6
37	狭山市立中央図書館	2
38	志木市立いろは遊学図書館	1
39	白岡市立図書館	1
40	杉戸町立図書館	2
41	草加市立中央図書館	1

42	知識の森 嵐山町立図書館	1
43	鶴ヶ島市立中央図書館	1
44	ときがわ町立図書館	1
45	所沢市立所沢図書館	1
46	所沢市立所沢図書館吾妻分館	1
47	所沢市立所沢図書館狭山ヶ丘分館	1
48	所沢市立所沢図書館新所沢分館	1
49	所沢市立所沢図書館所沢分館	7
50	所沢市立所沢図書館富岡分館	2
51	戸田市立図書館	7
52	長瀬町中央公民館図書室	1
53	新座市福祉の里図書館	8
54	蓮田市図書館	1
55	鳩山町立図書館	1
56	東松山市立高坂図書館	2
57	深谷市立上柴図書館	2
58	深谷市立図書館	2
59	富士見市立中央図書館	3
60	富士見市立図書館ふじみ野分館	2
61	ふじみ野市立大井図書館	1
62	ふじみ野市立上福岡図書館	4
63	本庄市立図書館	1
64	宮代町立図書館	1
65	八潮市立八條図書館	2
66	横瀬町立図書館	1
67	和光市図書館	1
	合 計	159

ウ 相互貸借（借受館及び点数）

	借 受 館				今年度計
1	上尾市図書館				3
2	朝霞市立図書館				5
3	伊奈町立図書館				1
4	小鹿野町立図書館				1
5	小川町立図書館				2
6	桶川市立桶川図書館				4
7	越生町立図書館				5
8	春日部市立中央図書館				2
9	加須市立加須図書館				1
10	神川町中央公民館図書室				6
11	上里町立図書館				1
12	川口市立中央図書館				1
13	川口市立戸塚図書館				1
14	川口市立前川図書館				1
15	川越市立中央図書館				1
16	行田市立図書館				1
17	久喜市立高瀬図書館				6
18	久喜市立鷺宮図書館				1
19	熊谷市立大里図書館				1
20	熊谷市立熊谷図書館				2
21	熊谷市立江南図書館				1
22	鴻巣市立川里図書館				3
23	鴻巣市立鴻巣中央図書館				4
24	越谷市立図書館				6
25	埼玉県立久喜図書館				106
26	埼玉県立熊谷図書館				38
27	さいたま市立岩槻駅東口図書館				1
28	さいたま市立大宮図書館				1
29	さいたま市立北浦和図書館				1
30	さいたま市立中央図書館				1
31	さいたま市立七里図書館				3
32	さいたま市立南浦和図書館				3
33	埼玉大学				1
34	坂戸市立図書館				2
35	幸手市立図書館				1
36	志木市立いろは遊学図書館				1
37	志木市立柳瀬川図書館				4
38	白岡市立図書館				4
39	杉戸町立図書館				2
40	草加市立中央図書館				4
41	知識の森 嵐山町立図書館				1
42	秩父市立秩父図書館				1
43	鶴ヶ島市立中央図書館				3
44	ときがわ町都幾川公民館図書室				1
45	ときがわ町立図書館				1
46	所沢市立所沢図書館				3
47	所沢市立所沢図書館狭山ヶ丘分館				1
48	新座市立中央図書館				4

49	蓮田市図書館	3
50	飯能市立図書館	1
51	東松山市立高坂図書館	2
52	深谷市立図書館	1
53	深谷市立花園こども情報交流図書館	4
54	富士見市立中央図書館	1
55	ふじみ野市立大井図書館	1
56	ふじみ野市立上福岡図書館	2
57	本庄市立図書館児玉分館	1
58	三郷市立図書館	1
59	三郷市立早稲田図書館	1
60	宮代町立図書館	1
61	毛呂山町立図書館	2
62	八潮市立八幡図書館	6
63	横瀬町立図書館	5
64	吉川市立図書館	5
65	寄居町立図書館	2
合計		287

(3) レファレンス業務（調査等の奉仕）

		上半期計	前年度上半期	前年度比
口頭	所在	1,511	1,516	99.7%
	書誌事項	15	6	250.0%
	文献	57	61	93.4%
	事実	547	531	103.0%
	その他	30	18	166.7%
	小計	2,160	2,132	101.3%
電話	所在	4	4	100.0%
	書誌事項	0	0	#DIV/0!
	文献	2	3	66.7%
	事実	33	39	84.6%
	その他	6	9	66.7%
	小計	45	55	81.8%
文書	所在	0	0	#DIV/0!
	書誌事項	0	0	#DIV/0!
	文献	0	0	#DIV/0!
	事実	0	0	#DIV/0!
	その他	0	0	#DIV/0!
	小計	0	0	#DIV/0!
合計		2,205	2,187	100.8%

(4) その他の奉仕業務

① 児童サービス（指定事業および自主事業の合計数）

絵本の読み聞かせ				
実績		上半期	前年度上半期	前年比
実施回数（回）		9	16	56%
参加人数計（人）		33	32	103%
内訳	こども（人）	22	23	96%
	大人（人）	11	9	122%
おはなし会・イベント等				
実績		上半期	前年度上半期	前年比
実施回数（回）		81	83	98%
参加人数計（人）		737	600	123%
内訳	こども（人）	426	383	111%
	大人（人）	311	217	143%

展示（テーマ別企画・特集）等				
実績		上半期	前年度上半期	前年比
実施回数（回）		47	48	97.9%
貸出冊数（冊）		4,808	4,876	98.6%

②障がい者サービス（提案事業）

定期的なおはなし会（毎週金曜日）				
実績		上半期	前年度上半期	前年比
実施回数（回）		6	0	—
参加人数計（人）		27	0	—
内訳	こども（人）	16	0	—
	大人（人）	11	0	—



③複写サービス

	上半期	前年度上半期	前年比
利用者数（人）	3	1	300.0%
利用枚数（枚）	11	1	1100.0%

④リクエストサービス

受付方法	上半期	前年度上半期	前年比
リクエスト 窓口受付(Web・口頭)	431	635	67.9%
トカード なし	252	17	1482.4%
こどもOPAC	228	291	78.4%
あり 窓口受付(記入)	4	184	2.2%
合計（件）	915	1,127	81.2%

(5) 資料統計

①蔵書数累計

累計点数	上半期末	前年度末
一般書	2,078	2,184
文庫・新書	40	42
児童書	28,554	28,438
児童文庫	692	674
年鑑・白書	0	0
雑誌	5,091	5,070
紙芝居	984	997
AV(CD/カセット)	386	386
合計	37,825	37,791

②資料統計

前年度末 所蔵点数	今年度上半期増加点数							今年度 上半期末
	購入分		寄贈	弁償	移管	廃棄	当年 増加点数	
	図書類	視聴覚資料						
37,791	917	0	4	6	68	▲ 961	34	37,825

③資料種別統計

資料種別	前年度末 蔵書数	内訳					上半期 増加合計	上半期 蔵書数	差異
		購入	寄贈	弁償	移管	廃棄			
一般書	2,184	72	2	0	▲ 1	▲ 179	▲ 106	2,078	0
文庫・新書	42	0	0	0	0	▲ 2	▲ 2	40	0
児童書	28,438	673	2	5	67	▲ 631	116	28,554	0
児童文庫	674	18	0	0	0	0	18	692	0
年鑑・白書	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑誌	5,070	126	0	1	0	▲ 106	21	5,091	0
紙芝居	997	28	0	0	2	▲ 43	▲ 13	984	0
AV(CD/カセット)	386	0	0	0	0	0	0	386	0
合計	37,791	917	4	6	68	▲ 961	34	37,825	0

※廃棄の理由として、児童書・児童文庫については、汚損・破損等これ以上の修理が不可能で、書架に出せないレベルの資料を廃棄している。必要な資料はその都度買い換えをしている。学習書については、子どもたちに最新の情報を提供する使命があるため、情報が古い本は除籍廃棄し、新しい資料を購入している。

#### 4 利用者からの苦情・要望

##### (1) 市長への手紙

	受付日	内 容	対応策・改善策	完了日	その他
1	—	—	—	—	—

##### (2) みんなの声等（苦情・要望）

	月 日	苦情・要望等	対応内容	対応開始日
1	—	—	—	—

#### 5 収入（複写サービス等）

複写サービス							
		今年度上半期		前年度上半期		前年比	
		枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額
内訳	モノクロ	11	110	0	0	#DIV/0!	#DIV/0!
	カラー(A3以外)	0	0	1	50	0%	0%
	カラー(A3)	0	0	0	0	#DIV/0!	#DIV/0!
合計		11	110	1	50	1100%	220%

読書通帳再発行							
		今年度上半期		前年度上半期		前年比	
		枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額
読書通帳再発行冊数		6	600	7	700	86%	86%

※複写料金

色	サイズ	金額
モノクロ	B5・A4・B4・A3	1枚10円
カラー	B5・A4・B4	1枚50円
	A3	1枚80円

※読書通帳再発行代は1冊100円

(中学生以下は無料)

※令和5年度上半期収支報告書は別紙で添付いたします。

## 6 その他

### (1) ブックスタート事業協力

	実施日	会 場	参加予定 (組)	担当者(人) / 担当組(組)			
				こども図書館		ボランティア団体	
1	4月27日	保健センター(東側)	10	1	4	2	6
2	4月28日	母子健康センター(西側)	12	1	5	2	8
3	5月25日	保健センター(東側)	17	1	5	2	10
4	5月26日	母子健康センター(西側)	15	1	5	2	8
5	6月22日	保健センター(東側)	15	1	4	2	7
6	6月23日	母子健康センター(西側)	16	1	6	2	11
7	7月27日	保健センター(東側)	20	1	6	2	11
8	7月28日	母子健康センター(西側)	13	1	4	2	8
9	8月24日	保健センター(東側)	12	1	4	2	8
10	8月25日	母子健康センター(西側)	11	1	4	2	7
11	9月21日	保健センター(東側)	17	1	5	2	10
12	9月22日	母子健康センター(西側)	10	1	4	2	6
合計			168	12	56	24	100

※事業実施予定時間 13:30~15:00

※【配布資料】毎月、以下の4種類を各40部ずつ作成・準備

- ・こども図書館作成
- ・中央図書館に作成依頼
- 「こども図書館利用館内」
- 「中央図書館利用案内」
- 「こどもといっしょに」(カラー版)
- 「えほんの森だより」

## (2) 研修

## ①内部研修

	月 日	項 目	研修内容	参加人数	研修担当者
1	6月6日、9日	新人研修	・図書館における基本の接遇 ・TRCMARCとTOOLiの基礎知識 ・著作権と複写サービスなど	1	株式会社 図書館流通センター サポート事業推進室
2	6月27日、29日	児童サービス入門	・読み聞かせに向く絵本の選び方や読み方のポイントを紹介	1	首都圏学校担当エリア マネージャ 樋口右子
3	7月14日	TRC埼玉館長会	県の障害者雇用状況 館長同士のグループディスカッション	1	(株)図書館流通センターサポート事業 推進室
4	9月25日	Pマーク研修	昨年度の内部監査結果を周知し、理解度確認テストを行った	10	館長
5	9月25日	図書館の広報	広報の目的や手法、媒体ごとの特性などを確認し、効果的な広報のあり方を考える	1	TRC顧問 村野隆男
6	9月25日	児童サービス概論①児童サービスの理念とさまざまなサービス	児童サービスの意義や歴史に加え、子どもの読書を取り巻く環境や制度について紹介	2	児童サービス向上委員会/行橋市図書館小田孝子（日本図書館協会認定司書）
7	9月25日	電話でのコミュニケーション	電話での話し方、声のトーンなどのほか、言い間違いや聞き間違いなどを防ぐコツ、クレームにつなげないための姿勢やスキルを学ぶ	1	サポート事業推進室 大松澤和美
8	9月25日	開発途上国の図書館	固有の文字文化を持たないソロモン諸島の教育や図書館事情を、JICA海外協力隊の活動を通じて紹介	1	営業部 服部時子
9	9月25日	絵本の読み聞かせ研修	読み聞かせ・おはなし会について、その意義や具体的な技法を学ぶ	1	児童サービス向上委員会/allobuおおぶ文化交流の杜図書館 眞静代
10	9月25日	ブックトークを楽しもう	ブックトークの目的、プログラムのづくり方、注意点などのコツやポイントを紹介	2	児童サービス向上委員会/東大阪市立花園図書館 野田光果さん（講義）、久喜市立中央図書館 落合章子さん（実演）

②外部研修

	月 日	研修名	研修内容	参加人数	講師
1	7月5日	児童サービス研修 「乳幼児の発達」	県立図書館主催の児童サービス研修の第1回目。 乳幼児の発達段階の解説や、こどもと絵本についての研修	1	齊藤みちよ (埼玉県家庭教育アドバイザー)
2	8月13日	県立図書館主催 参考調査研修会 レファレンス入門講座	第1回「レファレンス概要」 オンデマンド配信にて視聴	1	県立図書館
3	9月20日	児童サービス研修 「乳幼児サービス概論」	県立図書館主催の児童サービス研修の第2回目。 「乳幼児サービス概論」と乳幼児向け絵本についての講義	2	五十嵐 静江 (児童図書館研究会会員)
4	9月25日	読書バリアフリー研究会特別研修 「読書のバリアフリーをすすめるために」	・ICTを用いた読み書きサポートの可能性と課題 ・外国にルーツのある子どもたちの言葉と読書を支える ・国際子ども図書館の障害が者向け資料とサービス	1	公益財団法人伊藤忠記念財団主催

## (3) 広報活動

## ① 市報等掲載

	月 日	名 称	記事のタイトル名 (内容)	発 行
1	4月1日	広報 きたもと	こども図書館の催し	北本市
2	5月1日	広報 きたもと	こども図書館の催し	北本市
3	6月1日	広報 きたもと	こども図書館の催し	北本市
4	7月1日	広報 きたもと	こども図書館の催し	北本市
5	8月1日	広報 きたもと	こども図書館の催し	北本市
6	9月1日	広報 きたもと	こども図書館の催し	北本市

## ② こども図書館ホームページ掲載

	実 施 日	更新ページ	更新内容
1	4月25日	行事・催しもの	・5月のおはなし会カレンダー ・5月の展示
2	5月2日	お知らせ	・蔵書点検に伴う休館のお知らせ
3	5月8日	お知らせ	・こども図書館のご利用について
4	5月30日	行事・催し物	・6月のおはなし会カレンダー ・6月の展示
5	6月12日	お知らせ	・新しい電子図書が入りました
6	6月25日	行事・催し物	・7月のおはなし会カレンダー ・7月の展示
7	7月11日	お知らせ	臨時休館のお知らせ
8	7月25日	行事・催し物	8月のおはなし会カレンダー 8月の展示
9	8月25日	行事・催し物	9月のおはなし会カレンダー 9月の展示
10	9月25日	行事・催し物	10月のおはなし会カレンダー 10月の展示

③ その他掲載

	月 日	記事のタイトル名	掲載媒体等
1	4月	「こどもの読書週間」 ・手描きPOP付のおすすめ本展示 ・子ども読書の日おはなし会	北本ニュース Vol.24 4月号
2	4月	「子ども読書の日 おはなし会」	マチカツ！北本 ポータルサイト
3	4月	「わらべうたとよみきかせ」 「ひとりできける子おはなし会」 「子ども読書の日 おはなし会」	北本市児童館Instagram
4	5月	もう使ってみた？ 「北本市電子図書館」	北本ニュース Vol.25 5月号
5	5月	「わらべうたとよみきかせ」 「ひとりできける子おはなし会」	北本市児童館Instagram
6	6月	6月の展示「いくつのえほん」	北本ニュース Vol.26 6月号
7	6月	「わらべうたとよみきかせ」 「ひとりできける子おはなし会」	北本市児童館Instagram
8	7月	「わらべうたとよみきかせ」 「ひとりできける子おはなし会」 「読書まつり おはなし会」	北本市児童館Instagram
9	8月	「わらべうたとよみきかせ」 「ひとりできける子おはなし会」	北本市児童館Instagram
10	8月	利用券のかわりに、スマホや電子マネーカード で貸出ができます！  夏休みの宿題は終わった？	北本ニュース Vol.28 8月号
11	9月	「わらべうたとよみきかせ」 「ひとりできける子おはなし会」	北本市児童館Instagram

(4) 安全対策等

	月 日	内 容	対 応 等
<b>【新型コロナウイルス感染症対策】</b>			
1	4月	①館内の清掃・消毒 ②入館者のマスクの着用について ③館内滞在時間の継続	①トイレ・下駄箱・閲覧室の床等館内清掃および 書架・OPAC画面等利用者の手が触れると思われる部分 の消毒等継続実施。 ②3月13日よりマスクの着用は個人の判断に任せている が、スタッフはマスクの着用を継続している。北本市職 員の窓口対応と児童館職員のマスクの着用に合わせてい る。手指消毒は継続している。 ③館内滞在時間を60分以内、児童椅子を4脚、大人用椅 子を1脚フロアに出す事を継続している。 17時に机と椅子を消毒シートで清拭している。
2	5月	①館内の清掃・消毒 ②入館者のマスクの着用について ③館内滞在時間について	①トイレ・下駄箱・閲覧室の床等館内清掃および 書架・OPAC画面等利用者の手が触れると思われる部分 の消毒等継続実施。 ②3月13日よりマスクの着用は個人の判断に任せている が、スタッフはマスクの着用を継続している。北本市職 員の窓口対応と児童館職員のマスクの着用に合わせてい る。手指消毒は継続している。 ③5月8日より新型コロナが5類になったので、館内滞在 時間の制限を撤廃。 館内の閲覧イスを増やした。
3	6月	①館内の清掃・消毒 ②入館者のマスクの着用について ③館内滞在時間について	①トイレ・下駄箱・閲覧室の床等館内清掃および 書架・OPAC画面等利用者の手が触れると思われる部分 の消毒等継続実施。 ②3月13日よりマスクの着用は個人の判断に任せている が、スタッフはマスクの着用を継続している。北本市職 員の窓口対応と児童館職員のマスクの着用に合わせてい る。手指消毒は継続している。 ③5月8日より新型コロナが5類になったので、館内滞在 時間の制限を撤廃。 館内の閲覧イスを増やした。



4	7月	<p>①館内の清掃・消毒</p> <p>②入館者のマスクの着用について</p> <p>③館内滞在時間について</p>	<p>①トイレ・下駄箱・閲覧室の床等館内清掃および書架・OPAC画面等利用者の手が触れると思われる部分の消毒等継続実施。</p> <p>②3月13日よりマスクの着用は個人の判断に任せているが、スタッフはマスクの着用を継続している。北本市職員の窓口対応と児童館職員のマスクの着用に合わせている。手指消毒は継続している。</p> <p>③5月8日より新型コロナが5類になったので、館内滞在時間の制限を撤廃。 館内の閲覧イスを増やした。</p>
5	8月	<p>①館内の清掃・消毒</p> <p>②マスクの着用について</p>	<p>①トイレ・下駄箱・閲覧室の床等館内清掃および書架・OPAC画面等利用者の手が触れると思われる部分の消毒等継続実施。</p> <p>②スタッフはマスクの着用を継続している。</p>
6	9月	<p>①館内の清掃・消毒</p> <p>②マスクの着用について</p>	<p>①トイレ・下駄箱・閲覧室の床等館内清掃および書架・OPAC画面等利用者の手が触れると思われる部分の消毒等継続実施。</p> <p>②スタッフはマスクの着用を継続している。</p>
<b>【施設管理および利用者の安全確保】</b>			
1	7月8日	<p>児童館、こども図書館、市役所のトイレの水が流れない不具合</p>	<p>11時頃に児童館施設全てのトイレの水が流れないことが判明。 利用者には文化センターのトイレを利用するように依頼。 12時30分ごろには復旧。タンクの不調が原因とのこと。 12時ごろから14時まで児童館は一時的に閉館していたが、こども図書館は通常通り開館。</p>

## (5) システム関連等

	月 日	案 件	対 応 内 容 等
図書館システム関係			
1	4月25日	図書館システム定例会議 (発生した問題・課題の発生状況と処置状況の報告)	自動貸出機の画面上に出て来る文章に不具合があったので報告。会議後に担当者に確認してもらったところ、こども図書館だけでなく中央図書館でも発生していた。修正済。
2	8月19日	開館直後（9時頃）図書館システム（LiCS）にネットワーク遅延が発生	貸出・返却がほぼ行えない状態。中央図書館も同じ状況。NECに連絡。9時30分ごろに復旧。原因調査中。 幸い、開館直後は利用者もほぼいなかったのが、貸出・返却希望者が多かった場合はローカルによる手続きを行う予定だった。
3	9月25日	「LiCS-Re for SaaS」のサービス計画停止 (中央図書館、こども図書館は臨時休館)	9月25日、9時から21時まで「LiCS-Re for SaaS」のサービス計画停止が行われた。 【作業内容】 ・OSパッチ適用 ・SaaS環境メンテナンス

## (6) その他

	月 日	項 目	内 容 等
1	4月3日	児童館と総合訓練	地震により館内で火災が発生した想定で避難訓練を行った。落下物に注意し、頭部を保護する、出火場所を避け、素早く避難する訓練を行った。
2	4月19日	中央図書館・こども図書館・ボランティア団体（北本市子ども本を楽しむ会／北本市子ども文庫連絡会）との協働勉強会	リスト会議(ピンクリスト)に職員が1名参加した。毎月第3水曜日の午前中開催。 新型コロナウイルス感染防止策に努め、文化センターの広めの会場で三密を避けて実施された。
3	5月8日	児童館と総合訓練	児童館で迷子が発生したと想定し、館内放送(子どもの名前・性別・年齢・服装・特徴)を受け、図書館内やトイレ、階段下を搜索した。
4	5月17日	中央図書館・こども図書館・ボランティア団体（北本市子ども本を楽しむ会／北本市子ども文庫連絡会）との協働勉強会	リスト会議(ピンクリスト)に職員が1名参加した。毎月第3水曜日の午前中開催。

5	6月10日	児童館と総合訓練	児童館・図書館内で子どもが嘔吐したと想定。 図書館内の嘔吐対応キットの確認と使用手順の確認を行った。
6	6月14日	令和4年度指定管理業務に係るモニタリング	10時から12時こども図書館1階共有スペースにて、教育委員会生涯学習課により開催された。令和4年度事業報告書並びに令和4年度指定管理業務定期モニタリング実施項目の自己評価調書に基づきモニタリングが実施された。TRC担当エリアマネージャー、TRC営業、こども図書館長が出席した。
7	6月21日	中央図書館・こども図書館・ボランティア団体（北本市子ども本を楽しむ会／北本市子ども文庫連絡会）との協働勉強会	リスト会議(ピンクリスト)に職員が1名参加した。 毎月第3水曜日の午前中開催。
8	6月20日～22日	蔵書点検	20日～22日の3日間、蔵書点検を行った。期間中は図書館を休館。 全ての資料を点検し、新規不明図書が10点発生したが、その後9点は利用者から返却、発見された。結果、今年度の新規の不明本は1点のみ。
9	7月3日	児童館と総合訓練	児童館から出火したと想定し、利用者の避難・誘導を行った。 安全に素早く避難出来るよう、避難経路の確認を行った。
10	7月18日	北本市指定管理者業務評価委員会	「令和4年度指定管理業務に係るモニタリング」の結果を元に、指定管理者業務評価委員会による評価を受けた。本社から埼玉営業担当者とこども図書館長が出席した。
11	7月19日	中央図書館・こども図書館・ボランティア団体（北本市子ども本を楽しむ会／北本市子ども文庫連絡会）との協働勉強会	リスト会議(ピンクリスト)に職員が1名参加した。 毎月第3水曜日の午前中開催。

12	8月7日	児童館と総合訓練	児童館から出火したと想定し、利用者の避難・誘導を行った。 安全に素早く避難出来るよう、避難経路の確認を行った。
13	8月16日	中央図書館・こども図書館・ボランティア団体（北本市子ども本を楽しむ会／北本市子ども文庫連絡会）との協働勉強会	リスト会議(ピンクリスト)に職員が1名参加した。 毎月第3水曜日の午前中開催。
14	8月18日	消防訓練	市と合同の消防訓練。こども図書館からも1名参加。 消火器、消火栓を使用しての実施訓練も行った。
15	9月2日	受変電設備点検 (中央図書館、こども図書館は臨時休館)	施設一斉停電となるため、臨時休館館長が立ち合い
16	9月4日	児童館と総合訓練	地震を想定し、利用者の避難・誘導を行った。 安全に素早く避難出来るよう、避難経路の確認を行った。
17	9月9日	北本市庁舎消防設備点検	児童館は午前8時から9時まで各所点検が実施。館長が立ち合い
18	9月9日	利用者満足度調査 アンケート用紙配布	9月9日～9月18日まで150枚のアンケート用紙配布。基本的には館内で記入いただき、146枚を回収。後日、館内に結果を掲示予定。
19	9月15日	中央図書館・こども図書館・ボランティア団体（北本市子ども本を楽しむ会／北本市子ども文庫連絡会）との協働事業反省会	「2023夏 この本よんで」の振り返りについて話し合った。

20	9月20日	中央図書館・こども図書館・ボランティア団体（北本子ども本を楽しむ会／北本市子ども文庫連絡会）との協働勉強会	リスト会議(ピンクリスト)に職員が1名参加した。毎月第3水曜日の午前中開催。
----	-------	---	--

7 提案事業等

(1) 提案事業

①提案事業の実施状況

a.おはなし会・イベント等（内訳）

	項目	開催・人数	上半期	前年度上半期	前年比
1	読みきかせ 絵本・紙芝居等 (毎日 随時)	開催数(回)	9	16	56.3%
		人数計(人)	33	32	103.1%
		こども	22	23	95.7%
		大人	11	9	122.2%
2	わらべうたと 読みきかせ (毎週水曜日)	開催数(回)	25	24	104.2%
		人数計(人)	276	165	167.3%
		こども	141	87	162.1%
		大人	135	78	173.1%
3	おはなし会 ひとりで固ける子向け (毎週金・土曜日)	開催数(回)	46	38	121.1%
		人数計(人)	280	230	121.7%
		こども	177	154	114.9%
		大人	103	76	135.5%
4	障がいのある利用者 のためのおはなし会 (毎週金曜日)	開催数(回)	15	0	—
		人数計(人)	27	0	—
		こども	16	0	—
		大人	11	0	—
5	出前おはなし会 (要請がある場合)	開催数(回)	3	3	100.0%
		人数計(人)	96	57	168.4%
		こども	59	31	190.3%
		大人	37	26	142.3%
7	小学生対象「未来カ レッジ」事業 7/26,7/27,3/28 3/30実施	開催数(回)	2	2	100.0%
		人数計(人)	11	9	122.2%
		こども	11	5	220.0%
		大人	0	4	0.0%
9	季節のおはなし会	開催数(回)	3	0	#DIV/0!
		人数計(人)	58	0	#DIV/0!
		こども	29	0	#DIV/0!
		大人	29	0	#DIV/0!
合計		開催数(回)	103	83	124.1%
		人数計(人)	781	493	158.4%
		こども	455	300	151.7%
		大人	326	193	168.9%

b.月別展示テーマと貸出冊数（内訳）

月	展示(テーマ別企画・特集)内容	貸出冊数	月	展示(テーマ別企画・特集)内容	貸出冊数
4	はる	508	7	なつ	1,007
	おおきくなったら			まなぼうマナー・ルール(～7/13)	
	入園入学(3/4～4/9)、こどもの日(4/10～)			藪内正幸 (7/14～)	
	ネコ			たなぼた・ほしのおはなし(～7/7)、 へいわ (7/8～)	
	読書週間おすすめの本			たまごいろいろ(～7/13)、スペシャリストの本(7/14～)	
	外国語の本			グリーンリスト(7/15～)	
	プログラミングの本			ピンクリスト(7/15～)	
5	まなぼうルール・マナー	592	8	外国語の本	997
	こどもの日(～5/5)、おかあさんおとうさん(5/6～)			プログラミングの本	
	ねこ(～5/14)、たまごいろいろ(5/15～)			なつ	
	子どもの読書週間(～5/22)くつのはん(5/23～)			スペシャリストの本	
	外国語の本			藪内正幸	
6	プログラミングの本	655	9	へいわ (～8/15)、おじいちゃん、おばあちゃん (8/16～)	710
	なつ(6/30～)			グリーンリスト(7/15～)	
	まなぼうマナー・ルール			ピンクリスト(7/15～)	
	おかあさんおとうさん(～6/18)、たなぼた・ほしのおはなし(6/19～)			外国語の本	
	たまごいろいろ			プログラミングの本	
	いくつのはん(～6/29)			あき	
外国語の本	おとこのこも おんなのこも	4,469			
プログラミングの本	おいしいものあつまれ				
	おつきさま				
上半期合計					4,469
昨年度上半期					4,876
前年度比					91.7%

c.北本市電子図書館利用統計

項目	月	4	5	6	7	8	9	上半期計
今年度	アクセス件数	58	77	123	103	153	123	637
	コンテンツ貸出点数	61	140	90	99	132	75	597
前年度	アクセス件数	61	140	90	99	132	75	597
	コンテンツ貸出点数	47	73	44	99	63	58	384
前年比	アクセス件数	95.1%	55.0%	136.7%	104.0%	115.9%	164.0%	106.7%
	コンテンツ貸出点数	129.8%	191.8%	204.5%	100.0%	209.5%	129.3%	155.5%

(2) 指定事業

①おはなし会・イベントおよび視察・見学等

	項目	開催・人数	上半期	前年度上半期	前年比
<b>ボランティア団体との協働事業</b>					
1	協働おはなし会 ひとりで聞ける子向け (第4金曜日・第2土曜日)	開催数(回)	11	12	91.7%
		人数計(人)	91	75	121.3%
		こども	61	51	119.6%
		大人	30	24	125.0%
2	子ども読書まつり イベント等	開催数(回)	2	1	200.0%
		人数計(人)	42	12	350.0%
		こども	20	8	250.0%
		大人	22	4	550.0%
<b>体験等利用者への対応</b>					
3	こども図書館 視察・見学等 (随時)	開催数(回)	2	3	66.7%
		人数計(人)	11	84	13.1%
		こども	0	76	0.0%
		大人	11	8	137.5%

②展示(おすすめ本)の実施状況

月	展示内容	上半期	前年度上半期	前年比
7	課題図書	67	88	76.1%
	自由研究におすすめの本	111	30	370.0%
8	課題図書	62	69	89.9%
	自由研究におすすめの本	99	58	170.7%

※課題図書・読書感想文におすすめの本は毎年6月～8月末までの期間展示としている。



北本市立こども図書館  
令和5年度 上半期利用者満足度調査結果報告書

### 1、調査目的

北本市立こども図書館(以下「こども図書館」)における利用実態及び利用者の満足度を把握し、今後のより良い図書館運営に活かすため、令和5年度上半期利用者満足度調査を実施した。上半期は非接触型サービスの調査を中心に設問を作成した。大人用アンケート用紙と子ども用(小学生以下)のアンケート用紙を作成し、同じ質問内容とした。

### 2、調査概要

実施日	令和5年9月9日(土)～令和5年9月18日(月)
実施時間	午前9時(開館)から午後7時(閉館)まで
実施場所	北本市立こども図書館
調査対象者	北本市立こども図書館来館者
配布枚数	150枚(大人用100枚 子ども用50枚)
回収枚数	101枚
回収期間	令和5年9月9日(土)～令和5年9月24日(日)
回収率	97.3%

### 3、集計・分析にあたって

無回答の場合はカウントしていない。各項目に回答数の集計表を添付し、数字でも分かるようにした。パーセントの計算は回答数を100として計算した。性別は質問していない。

### 4、利用者満足度調査

配布については、貸出・返却の際にアンケート用紙を手渡し、協力をお願いした。渡す際にアンケートと鉛筆をバインダーにセットして渡したので、殆どの利用者にその場で書いて頂けた。結果、配布150枚中、回収は146枚と前回は大きく上回る回収率になった。(前回の回収率は44%)

図書館の接客や施設の清潔さや過ごしやすさ等については概ね好評である。自動貸出機の周知を積極的にするようになった結果か、昨年より高い数値になった。しかしながら、図書館ホームページ、パスワード登録者、電子図書館利用はまだまだ低いままなのでPRが足りていないことが現状である。こども図書館の利用者は比較的、若い利用者が多く、インターネット等の利用には抵抗がないはずなので、これらの項目の周知を積極的に行っていく。

10月18日(水)から館内に結果を掲示し、利用者に調査結果の報告を行う。

以上

# 北本市立こども図書館 利用者満足度調査 集計結果

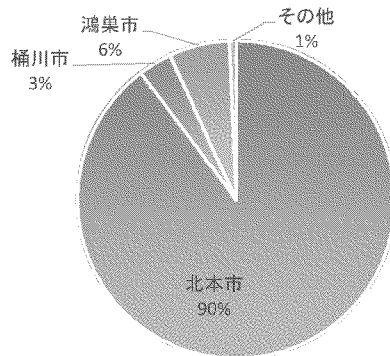
調査実施期間 令和 5年 9月 9日(土)～令和 5年 9月18日(月)

## 質問1 ご記入者様について

### (1)お住まい

	北本	桶川	鴻巣	その他	計
回答者数(人)	131	5	9	1	146

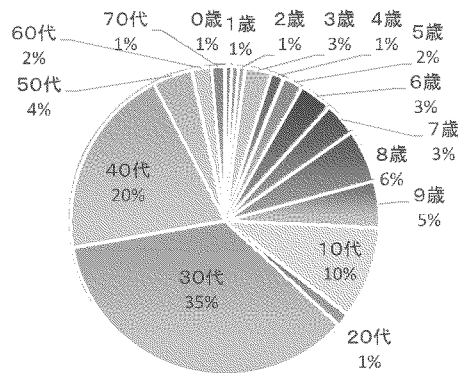
その他:上尾



### (2)年 齢

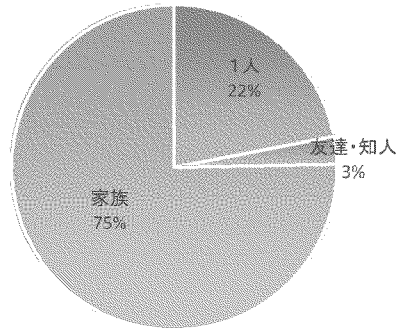
	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳
回答者数(人)	1	1	1	4	2	3	5	5

	8歳	9歳	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	計
回答者数(人)	8	7	14	2	51	29	6	5	144



(3)どなたと来館されましたか？

	1人	友達・知人	家族	その他	計
回答者数(人)	32	4	110	0	146



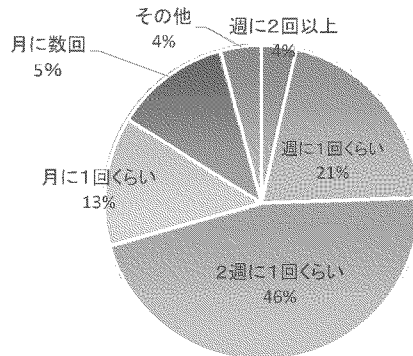
(4)利用頻度

	週に2回以上	週に1回くらい	2週に1回くらい	月に1回くらい
回答者数(人)	5	30	66	19

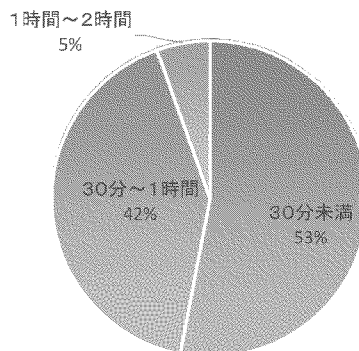
	月に数回	その他	計
回答者数(人)	17	6	143

その他：年2～3回  
1年に3回  
3かげつに1回くらい  
毎日  
2ヶ月に1回



(5)滞在時間

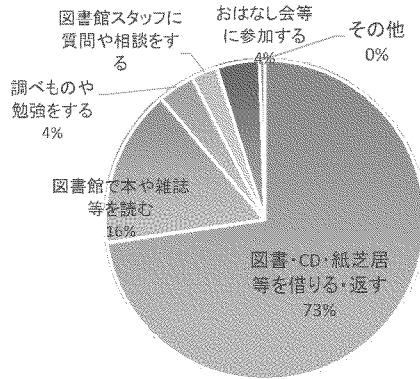
	30分未満	30分～1時間	1時間～2時間	計
回答者数(人)	78	61	8	147



(6)利用目的(複数回答可)

①図書・CD・紙芝居等を借りる・返す	136
②図書館で本や雑誌等を読む	30
③調べものや勉強をする	7
④図書館スタッフに質問や相談をする	5
⑤おはなし会等に参加する	8
⑥その他	1
計	187

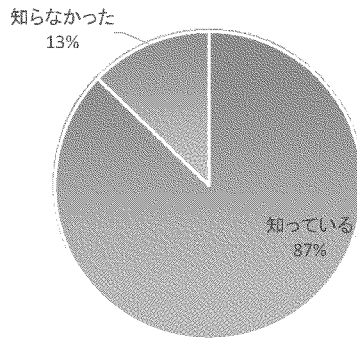
その他:じどうかんにきたときに



質問2 自動貸出機について教えてください。

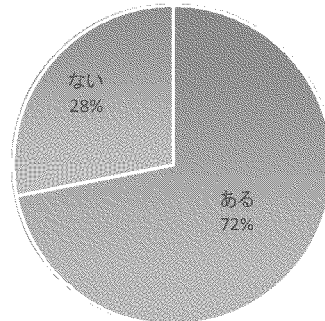
(1)自動貸出機があることを知っていますか？

	知っている	知らなかった	計
回答者数(人)	116	17	133



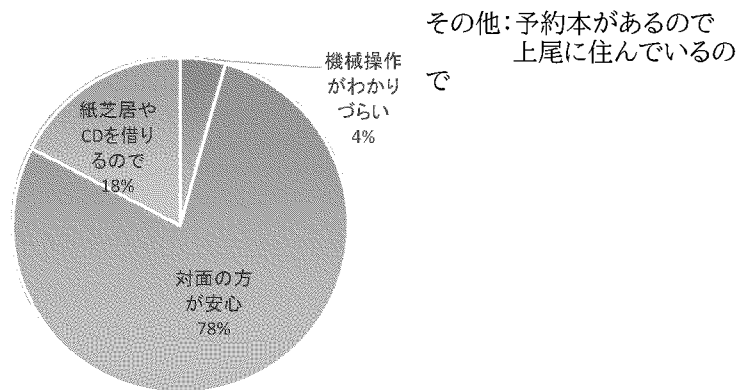
(「知っている」と答えた方に) 実際に使ったことはありますか？

	ある	ない	計
回答者数(人)	87	34	121



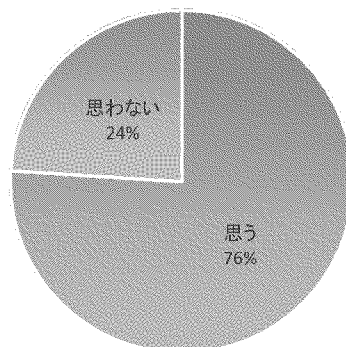
(「使ったことがない」と答えた方に) 当てはまる理由1つに○を付けてください

	機械操作がわかりづらい	対面の方が安心	紙芝居やCDを借りるので	計
回答者数(人)	1	18	4	23



(「知らなかった」と答えた方に) 今後使ってみたいと思いますか？

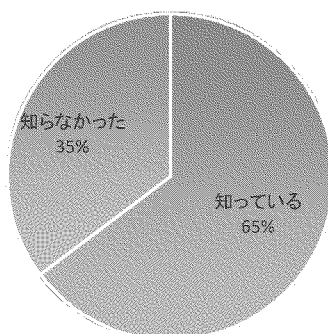
	思う	思わない	計
回答者数(人)	19	6	25



### 質問3 図書館ホームページの利用について

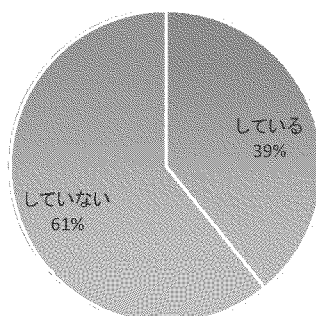
(1) 図書館のホームページから本の予約ができることを知っていますか？

	知っている	知らなかった	計
回答者数(人)	90	49	139



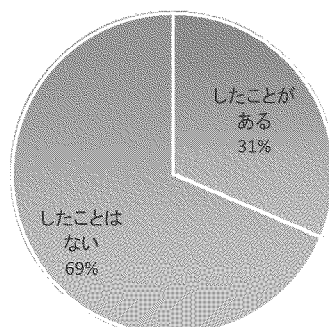
(2) そのために必要なパスワード登録をしていますか？

	している	していない	計
回答者数(人)	54	84	138



(3) 実際にホームページから本の予約をしたことがありますか？

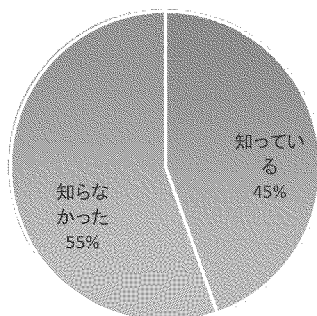
	したことがある	したことはない	計
回答者数(人)	44	96	140



質問4 「北本市電子図書館」について

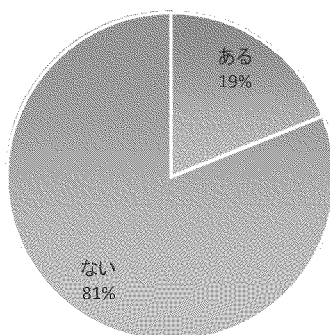
(1)「北本市電子図書館」を知っていますか？

	知っている	知らなかった	計
回答者数(人)	62	77	139



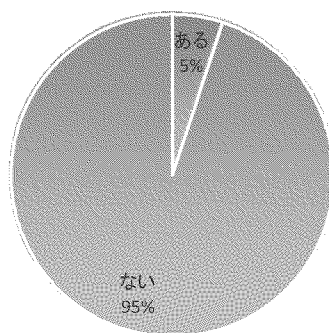
(2)「北本市電子図書館」のホームページ にアクセスしたことはありますか？

	ある	ない	計
回答者数(人)	26	111	137



(3)電子書籍を借りたことはありますか？

	ある	ない	計
回答者数(人)	7	131	138



質問5 こども図書館について、ご意見がありましたらお聞かせください。

※別紙参照

質問5 こども図書館について、ご意見がありましたらお聞かせください。

本屋さんで見かける本があまりないので新しい本が増えたらうれしいです。
おはなし会楽しみにしています。
新しい本は、一回につき何さつ い上 はいりますか？
新着の本がたくさんあり、読みたい本がいっぱいあって親子で楽しんでいます。
図書館には、本が何さつくらいありますか？
著者順に本を並べてほしい 雑誌の種類を増やしてほしい 雑誌は、子ども図書館と、中央図と同じものを並べてほしい。(ファッション誌etc)
こどもが楽しめるつくりになっていて助かります。
新しい紙しばいの数を増やして欲しい(昔話等)
配列がわかりやすく窓際の本も借りてみたいなど思うものが多く、いつもすごいなと思っています。 人気のある本など複数あると、かりやすくてありがたいです。
新刊をもっと増やしてほしいです。
子供とよく来ています。「うけつけの人がやさしくてすき」と言っていました。 いつもありがとうございます。
新刊、子供に人気の本など特に見やすくさらに並べていただきたい！！きがすのに苦労します。 見あたらない本をいつも親切に教えて下さってありがとうございます。
子どもたちも好きな場所です。夏休みなど長期休みはよく利用します。
毎回気持ちよく利用させていただいている
小学生の高学年向けの本を増やしてほしい。その前の年代の(低学年・幼児)本は多いですが… いつも利用しています。かざりつけなどもきれいで、かわいくて大好きです。 本の名前もおしえてくれたり、おすすめもおしえてくれて、いつもありがとうございます。 いつもありがとうございます。とても助かっています。
いつもすてきな本がかりれて、子供たちと楽しみにしています！！ 通帳がたまるのが楽しくて、毎回10冊かりています。
いつも利用しています。きれいで過ごしやすく、子どもたちもよろこんでいます。
いつも借りることが出来、いろんな本を見ることができ、ありがたいです。 (本は買うと高いので、ありがたいです。)
いつも親切、丁寧にご対応いただいています。ありがとうございます。
文化センターの方を12年前から利用し始め、こちらに通うようになりました。 新しい本が入るので嬉しいです。
下の子が小4になったので、あと何年かお世話になりたいと思っています。 私自身も絵本にいやされています。いつも親切に接していただきありがとうございます。
非常に検索がしやすく、本も見やすいので探すのが簡単です。
ぜにてんどう さいしんかんは、ありますか
色んな本がそろっていて、子どもが楽しんでいます。
本を読んでくれるイベントで聞いたとき すごくうれしかったです。
スタッフさん みんな親せつで いつ行っても気持ちが良いです。ありがとうございます。
上尾在住でも本を借りられるとうれしい
子どもたちがたくさん本と出会えて、とても楽しそうです。 大人の図書館とは別になっているので、利用しやすくありがたいです。
いつも助かっています。
いつも利用させて頂きありがとうございます。



第 2 次北本市子ども読書活動推進計画  
(案)

## 第2次北本市子ども読書活動推進計画 目次

第1章	計画の概要	1
1	計画策定の目的	1
2	計画の期間と対象	1
3	計画の位置づけ	1
4	SDGsとの関連	3
第2章	計画の振り返り	4
1	前回計画の総括	4
2	前回計画の主な成果	4
3	今後の主な課題	4
第3章	第2次計画の方針	6
1	基本の方針	6
2	計画の体系	6
第4章	読書活動の推進に向けた取組	7
基本の方針1	家庭、地域、学校における子どもが読書に親しむ機会の提供と充実	7
(1)	家庭における推進	7
(2)	地域における推進	8
(3)	学校等における推進	10
(4)	市立の各図書館・学校等・民間団体等の連携・協力	12
基本の方針2	子どもの読書活動を推進するための環境の整備・充実	13
(1)	市立の各図書館の整備・充実	13
(2)	学校図書館の整備・充実	15
(3)	学校図書館の活用を充実していくための人的配置の推進	16
(4)	障害のある子どものための諸条件の整備・充実	17
基本の方針3	子どもの読書活動に関する啓発・広報の推進	18
(1)	「子ども読書の日」を中心とした啓発・広報	18
(2)	優良な図書の普及	19
基本の方針4	子どもが読書に親しむための推進体制の充実	21
(1)	庁内関係部署と関係機関との連携強化	21
(2)	新たな推進体制の検討	21
第5章	資料	22
1	第2次北本市子ども読書活動推進計画策定のためのアンケート結果	22
2	北本市子ども読書活動推進計画策定委員会設置要綱	26
3	北本市図書館協議会委員名簿	27
4	第2次北本市子ども読書活動推進計画策定委員名簿	27
5	第2次北本市子ども読書活動推進計画策定の経過	28

# 第1章 計画の概要

## 1 計画策定の目的

子どもの読書活動は、子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものです。私たちを取り巻く社会環境は高度情報化、少子高齢化、核家族化などめまぐるしく変化し、大人だけではなく、子どもの心身の発達や生活環境などに大きな影響を与えています。

そうした中、北本市（以下「本市」という。）では子どもの読書活動の充実と環境の整備に努めるため、「北本市子ども読書活動推進計画（令和元年度～令和5年度）」を平成31年3月に策定し、家庭・地域・学校等を含めた社会全体で子どもの読書活動の支援に取り組んできました。

しかし、近年のインターネットやスマートフォンなどの普及等や学校でのGIGAスクール構想実現のための1人1台学習用端末整備など、情報化社会は急激に進展しています。また、前回計画が策定されてから5年余りが経過する中で、令和4年10月には「北本市子どもの権利に関する条例」の施行や新型コロナウイルス感染症の世界的流行など、策定時点では予想できなかった変化や課題が発生しており、子どもを取り巻く環境の変化に対応する必要があります。

そこで、子どもが読書に親しめる環境の整備を推進していくため、北本市子ども読書活動推進計画を継承しつつ、国・県の計画や社会の変化を踏まえ、「第2次北本市子ども読書活動推進計画」を策定するものです。

## 2 計画の期間と対象

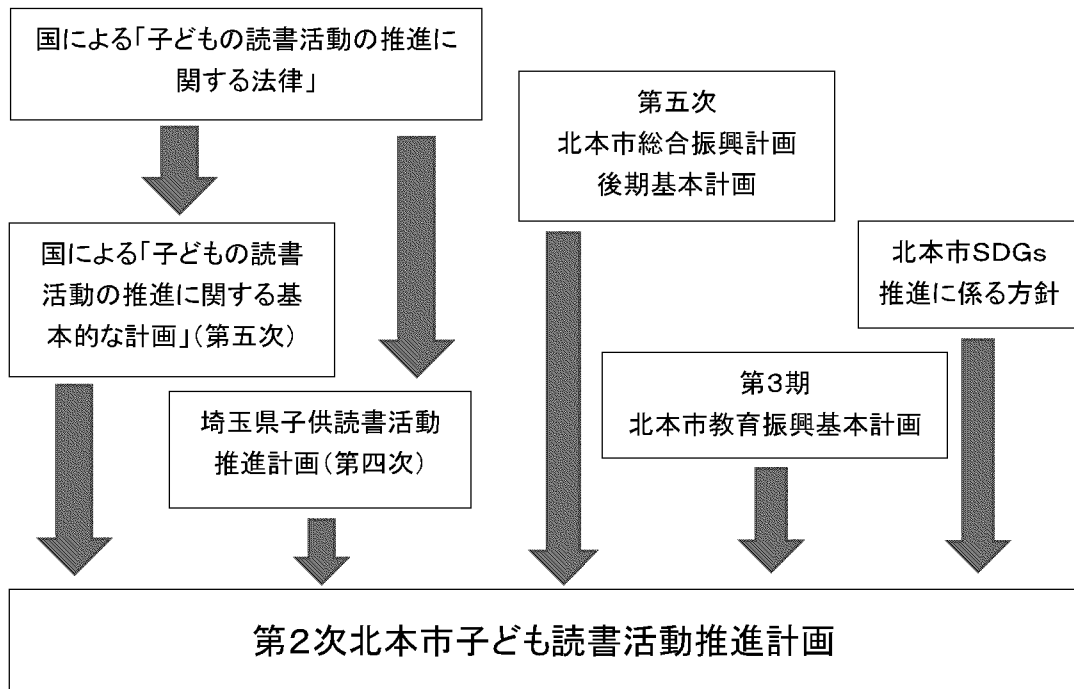
計画の期間は、令和6年度から令和10年度までの5年間とします。本計画における「子ども」とは、概ね18歳以下の人をいいます。また、子どもの読書活動の推進に関わる保護者、地域、教育・福祉・保健等の関係者も対象に含みます。

## 3 計画の位置づけ

「子どもの読書活動の推進に関する法律」（平成13年法律第154号）を受け、国は令和5年3月、「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」（第五次）を策定し、埼玉県は平成31年3月、「埼玉県子供読書活動推進計画」（第四次）を策定しました。

「第2次北本市子ども読書活動推進計画」は、国と埼玉県の動きを踏まえるとともに、本市の最上位計画である「第五次北本市総合振興計画」及び教育行政分野における計画「第3期北本市教育振興基本計画」等との整合性を図り、北本市子ども読書活動推進計画を継承した、子どもの読書活動の充実と環境の整備に努めるための計画です。

## 計画の関連図



## 4 SDGs との関連

SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) は、平成27年9月の国連サミットにおいて全会一致で採択された、「誰一人取り残さない」持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標です。

17のゴール・169のターゲット・231の指標(重複を除く。)から構成され、開発途上国のみならず、我が国を含む各国において、令和12年までの目標達成に向けた積極的な取組が進められています。

多様性や包摂性を前提とするSDGsの理念は、本市のまちづくりの基本理念「市民との協働による持続可能なまちづくり」や、将来都市像「緑にかこまれた健康な文化都市～市民一人ひとりが輝くまち 北本～」と方向性を同じくしています。

これを踏まえ、本市では、「第五次北本市総合振興計画後期基本計画」(計画期間:令和4年4月1日から令和8年3月31日まで)(以下「後期基本計画」という。)において、各施策分野に掲げられた「施策の目指す姿」に該当するSDGsのアイコンを示すとともに、内閣府作成の「地方創生SDGsローカル指標リスト」を参考としてSDGsのゴールと結びつけた「施策の成果指標」や「基本事業の指標」を設定しました。

第2次子ども読書活動推進計画においても、17の目標のうち「4 質の高い教育をみんなに」と「17 パートナースHIPで 目標を達成しよう」を主な目標とし、本計画を推進することにより、SDGsの達成を目指していきます。



### 4 質の高い教育を みんなに



すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する

### 17 パートナースHIPで 目標を達成しよう



持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナースHIPを活性化する

## 第2章 計画の振り返り

### 1 前回計画の総括

前回計画（令和元年度～令和5年度）では、本市の子どもの読書活動を推進していくため、第2期北本市教育振興基本計画の基本的理念「共に学び 未来を拓く 北本の教育」の実現に向けて、4つの基本の方針を柱に、多様な取組を推進してきました。家庭、地域、学校における取組は着実に進められ、それぞれ一定の成果をあげていることから、前回計画の基本の方針、施策の方向性は評価できます。

しかしながら、前回計画における課題を検証すると、未だ取組の成果が十分でない施策や、今後より一層推進すべき施策が存在することから、基本の方針の実現に向けて引き続き、子どもの読書活動を推進するための取組を進めていく必要があります。

第2次計画においては、基本的な考え方は前回計画を踏襲し、4つの基本の方針は変えず、これまでの施策の見直しにより、今後の充実と発展、質の向上に努めます。

### 2 前回計画の主な成果

- (1) 学校・図書館・保育所・児童館・公民館等さまざまな場所で子どもが楽しく本と出会うことのできる機会が増え、ボランティア団体の活動も活発化しました。
- (2) 図書館とボランティア団体、図書館と児童館等、それぞれの団体や機関とが連携する活動が始まりました。
- (3) ブックスタート<sup>※1</sup>（4か月児）の定着により、家庭における読み聞かせの機会が増えました。
- (4) 学校・図書館の連携による、子どもと良書を出合わせる取組が充実しました。
- (5) 図書館における「読書通帳」等の取組により、子どもの読書活動が活発化しました。

### 3 今後の主な課題

- (1) 本をよく知り、読み聞かせ・ブックトーク等で、子どもに読書の楽しさを伝えることのできる人材を育成し、さまざまな施設・地域で子どもが本を読む楽しさを実感できる取組を推進することが必要です。
- (2) 近年のスマートフォンなどの情報通信機器やインターネットなどのデジタル情報メディアの急速な普及・発達は、子どもの生活習慣や読書環境に大きな影響を与えていると言われています。子どもの読書離れを食い止めて読書活動に向かわせるには、子どもがいつでも自由に読める環境を、これまで以上に整備することが必要です。

---

※1 ブックスタート・・・乳児健診に参加された子どもと保護者の皆さんに、メッセージを添えて絵本をプレゼントする事業です。

- (3) 急激に進むデジタル化の中で、SNSやオンラインによる読書啓発が必要です。また子どものための電子書籍を充実させることも必要です。同時に、生の声での読み聞かせ等、対面で実施する読書啓発や、これまで長く親しまれてきた紙の本の魅力にも留意し、多角的に取り組むことも必要です。
- (4) 読書推進の気運を高めるため、今後もより一層、学校・家庭・図書館・地域・関係機関等の連携強化が必要です。
- (5) 読書活動が困難な子どもを支援するための環境整備を推進することが必要です。

## 第3章 第2次計画の方針

### 1 基本の方針

基本の方針1	家庭、地域、学校における子どもが読書に親しむ機会の提供と充実
基本の方針2	子どもの読書活動を推進するための環境の整備・充実
基本の方針3	子どもの読書活動に関する啓発・広報の推進
基本の方針4	子どもが読書に親しむための推進体制の充実

### 2 計画の体系

<b>基本の方針1 家庭、地域、学校における子どもが読書に親しむ機会の提供と充実</b>	
(1)	家庭における推進
	ア ブックスタート
	イ 読み聞かせ等
(2)	地域における推進
	ア 市立の各図書館における推進
	イ 民間団体等における推進
(3)	学校等における推進
	ア 保育所等における推進
	イ 小学校・中学校における推進
(4)	市立の各図書館・学校等・民間団体等の連携・協力
<b>基本の方針2 子ども読書活動を推進するための環境の整備・充実</b>	
(1)	市立の各図書館の整備・充実
	ア 資料の整備・充実
	イ 設備等の整備・充実
	ウ 図書館職員研修の充実（市立図書館）
(2)	学校図書館の整備・充実
	ア 資料の整備・充実
	イ 設備等の整備・充実
(3)	学校図書館の活用を充実していくための人的配置の推進
	ア 司書教諭の配置
	イ 学校図書館指導員の配置
(4)	障害のある子どものための諸条件の整備・充実
<b>基本の方針3 子どもの読書活動に関する啓発・広報の推進</b>	
(1)	「子ども読書の日」を中心とした啓発・広報
	ア こども図書館
	イ 中央図書館
	ウ 小・中学校
(2)	優良な図書の普及
	ア こども図書館
	イ 中央図書館
	ウ 小・中学校
<b>基本の方針4 子どもの読書に親しむための推進体制の充実</b>	
(1)	庁内関係部署と関係機関との連携強化
(2)	新たな推進体制の検討



## 第4章 読書活動の推進に向けた取組

### 基本的方針1

家庭、地域、学校における子どもが読書に親しむ機会の提供と充実

#### (1) 家庭における推進

##### ア ブックスタート

###### 【現状】

本市では、毎月実施される乳児（4か月児）健診の会場で、ブックスタートを平成16年8月から実施しています。

健診終了後、訪れた親子にこども図書館職員、地域のボランティア団体が絵本の読みきかせや絵本の選び方等の説明を行い、絵本などが入ったバックを手渡します。絵本を通じて保護者と乳児がふれあい、豊かな時間を過ごすことで、乳児が健やかに育まれることを目的としています。

###### 【課題】

国際色豊かな親子の増加に伴う多言語への対応や、視覚障がいのある保護者や乳児向けの対応も必要です。

###### 【施策の方向】

家庭での本との出会いを充実させるために、子育て支援課では、こども図書館、地域のボランティア団体と連携を図りながら、ブックスタート事業を継続的に実施します。ブックスタートが「絵本」との出会いの「きっかけ」となるように、それぞれの親子に合わせた取組になるよう、検討を進めます。

読み聞かせにより、保護者に子どもが絵本に興味を示す姿を見てもらい、読み合う楽しさを知らせることで、家庭における読み聞かせの活発化を推進します。

多言語への対応や視覚障がいのある利用者には、こども図書館と連携を図り支援していきます。

##### イ 読み聞かせ等

###### 【現状】

子どもたちには本を手渡すと同時に、親から子への読み聞かせといった「ことば」を手渡すことが重要です。家族に本を読んでもらう経験は、子どもたちの長い読書人生の礎を築く第一歩となります。こども図書館では、親子で読みきかせをする姿をよく見かけるようになりました。読み聞かせに適する本は、こども図書館だけでなく中央図書館でも所蔵しています。

###### 【課題】

読み聞かせに適する図書を活用して、文字が読めるようになってからも「読みきかせ」等を多くの利用者に継続してもらうことが重要です。

### 【施策の方向】

市立図書館の行事等を通じて、多くの人に読み聞かせの大切さを伝え、家庭での読み聞かせを行うきっかけや機会の提供について、継続的な支援を行っていきます。

また、読み聞かせボランティア養成講座を継続的に行い、読み聞かせの機会を増やしていきます。併せて、読み聞かせの技術や素晴らしさを伝えるための講座も行っています。

## (2) 地域における推進

### ア 市立の各図書館における推進

#### (ア) こども図書館

##### 【現状】

乳幼児から小学校低学年を対象とした資料を中心に、蔵書構成をしています。図書館職員が利用者の好きな本の読み聞かせを行い、子どもたちに耳から聞く豊かな言語環境を提供すると同時に、親子でホッとする時間を提供しています。

また、利用者の希望に応じて行うサービスを通じ、障がいのある利用者が読書に親しむ機会の提供や、本の選び方、読み聞かせ方法等に関する質問にも対応しています。

本を仲立ちとして、家族で楽しいひと時を過ごしたていただくよう、おはなし会<sup>※2</sup>やイベントの実施、様々なテーマでおすすめ本の展示を行う等、利用者が積極的に本を手にする機会の提供や読書の幅を広げる支援を行っています。

貸出記録を残すことにより、どんな本を読んできたか振り返る「読書通帳<sup>※3</sup>」を発行しています。



読書通帳

##### 【課題】

利用者の成長に合わせた行事・イベントを通して、本に触れる機会を増やすことが大切です。読書により感動や達成感を味わうことが、読書の継続に繋がります。

### 【施策の方向】

絵本の読み聞かせ、おはなし会、イベント、展示等の様々な事業を通じて、家族そろって楽しい時間が共有できる場を提供していきます。

また、「読み聞かせボランティア養成講座」を開催し、図書館以外でも読み聞かせイベント等が開催できるよう、支援します。

耳から聞く豊かな言語環境の提供とともに、親子での読み聞かせや本を手にする機会の拡大、支援に努めます。

小学校中学年以上を対象とした資料を中心に蔵書構成をしています。子どもたちの知的好奇心を満たし、学習を助け、子どもたちの一生の友となる本との出会いを提供します。



おはなし会 (こども図書館)

※2 おはなし会・・・子どもにお話を読んで聞かせる会。子どもと本を結びつける本に対する興味を育て、読書する素地をつくります。

※3 読書通帳・・・銀行の通帳と同じように、自分が借りている本のタイトルや著書名などが記入され、記録として残すことができる通帳です。

## (イ) 中央図書館

### 【現状】

小学校中学年以上を対象とした資料を中心に蔵書構成をしています。子どもたちの知的好奇心を満たし、学習を助け、子どもたちの一生の友となる本との出会いを提供するため、子どもたちが利用しやすいように、子ども優先閲覧席の設置や、調べ学習<sup>※4</sup>の相談等を行っています。小学校中学年以上の児童書の充実を図り、おすすめ本の展示やヤングアダルト<sup>※5</sup>コーナーを設ける等、多くの子どもたちに利用していただけるよう、様々な取組を行っています。また、点字図書<sup>※6</sup>、デージー図書<sup>※7</sup>等を収集し、障がいのある子どもたちへの対応を行っています。

### 【課題】

ヤングアダルトを中心とした「読書から離れた」多くの市民がいます。本に親しみ、図書館利用者に戻ってもらうことが重要です。これらの人に届くイベントの開催や、広報活動を積極的に行う必要があります。

### 【施策の方向】

子どもたちが利用しやすい環境の整備に努め、中高校生向けのイベントの開催や広報誌の発行、こども図書館と連携して、こども司書講座の開催等、魅力ある取組を実施していきます。

また、図書館分室のある各公民館との一層の連携や、児童向け図書資料の更なる充実を図っていきます。

## (ウ) 図書館分室（南部公民館・西部公民館・学習センター）

### 【現状】

子どもたちが利用しやすいように、絵本や紙芝居の割合を中央図書館より多くして、蔵書しています。子どもから高齢者まで、多くの市民がゆったりした環境で利用しています。

### 【課題】

分室はスペースが狭いので、親子で本の読み聞かせをする環境や、子どもが閲覧しやすい学習環境に改善する必要があります。また蔵書に古い本が多いため、新しい資料の充実も必要です。

### 【施策の方向】

施設の管理を各公民館が行っていることから、環境の整備や事業の連携方法等について、中央図書館と各公民館による協議・検討を行っています。また、利用方法、開館時間等の更なる周知に努め、中央図書館とこども図書館との事業の連携等を行っています。

---

※4 調べ学習・・・児童生徒が課題について調査し結論をまとめる学習法です。

※5 ヤングアダルト・・・本計画では、概ね12歳から18歳を対象としています。

※6 点字図書・・・視覚にハンディキャップのある方のために作成された「指先でよむ本」です。

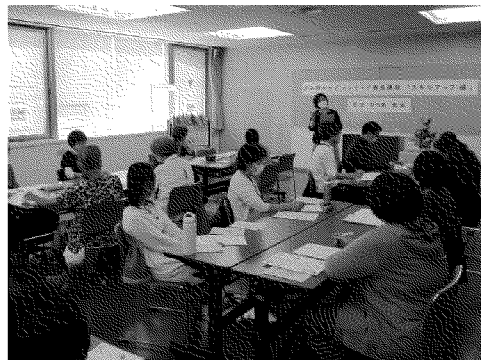
※7 テイジー図書・・・デージー(DAISY)とは、Digital Accessible Information Systemの略で、「アクセシブルな情報システム」と訳されるデジタル録音図書の国際標準規格です。視覚障がい者等により、普通の印刷物を読むことが困難な方々のために、カセットテープに代わるものとして開発されました。

## イ 民間団体等における推進

### 【現状】

地域のボランティア団体は、各保育所での絵本の読み聞かせやパネルシアター※<sup>8</sup>、各小学校でのおはなし会等を行っています。市内に3か所ある子ども文庫では、本の貸出を行う等、子どもの読書活動の推進のために様々な活動をしています。

また、市立図書館との協働事業としておはなし会、子ども読書まつり、児童文学講座等の実施や、その他、子どもの年代別で作成しているブックリスト※<sup>9</sup>の作成でも連携をしています。



読み聞かせボランティア養成講座  
(こども図書館)

### 【課題】

連携して「おはなし会」を開催するには、ボランティア養成講座を受講した会員がまだ少なく、十分な活動の機会が得られないため、ボランティアを今以上に増やしていく必要があります。

### 【施策の方向】

ボランティア養成講座を実施し、読み聞かせに興味がある方と読み聞かせボランティアとの橋渡しも行っていきます。また、地域のボランティア団体との連携、協力を推進していきます。

学校では、地域のボランティア団体等と連携し、読み聞かせ等の活動を行っていますが、より学校の特徴に合うように工夫した方法の活動を推進していきます。

## (3) 学校等における推進

### ア 保育所等における推進

#### 【現状】

保育所では、乳幼児、幼児期、小学校入学前までに分けて、年齢ごとに絵本や紙芝居の読み聞かせ等を行っています。保育指針の中で、絵本や紙芝居の読み聞かせをすることで親しみや興味を持ち、模倣・想像する楽しさを知ることや、言葉を伝え合うことで、豊かな表現力を身に付けること等が示されていることから、保育の中に積極的に取り入れています。

保護者にも絵本に興味をもってもらえるよう、懇談会等で子どもたちの好きな絵本や紙芝居をお知らせしたり、保育所で読み聞かせをしている本の紹介や保育士の感動した本の読み聞かせ等を行っています。

#### 【課題】

家庭での読み聞かせを推進するために、各保育所で所有している絵本を活用して、一人でも多くの保護者へ、絵本の良さを知っていただくことが必要となります。

※<sup>8</sup> パネルシアター・・・パネル布など毛羽立ちの良い布を貼ったボードに、Pペーパーと呼ばれる不織布で作成した絵を貼ったりはずしたりしながら展開していくお話や歌遊び、ゲームなどをします。

※<sup>9</sup> ブックリスト・・・ある基準で選択され、本を薦めたり、紹介するために作られた目録です。「子どもたちの年代別おすすめ本」のリストで、中央公民館・こども図書館・ボランティア団体が連携して作成しています。

### 【施策の方向】

絵本の読み聞かせや絵本の紹介を通じて、家族と一緒に本を読む機会の拡大に努めるとともに、小学校入学前までの子どもたちの読書をする習慣づくりを支援します。

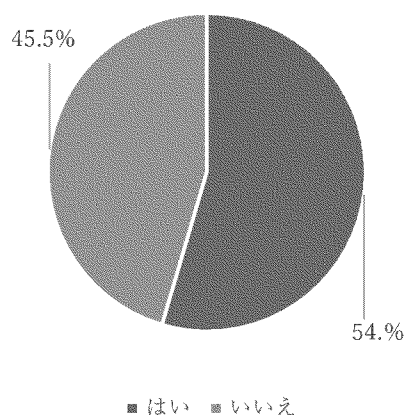
## イ 小学校・中学校における推進

### 【現状】

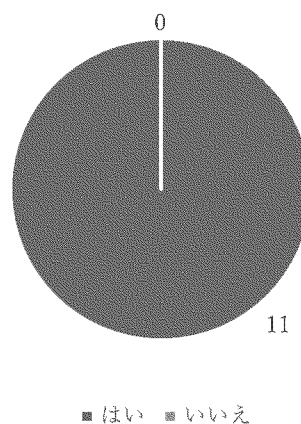
小・中学校学習指導要領（平成29年3月告示）においては、「総則」、「国語」、「社会」、「美術」（中学校のみ）、「特別活動」に、それぞれ学校図書館との関連についての記載があります。特に、改訂された指導要領の中心的な概念の一つである「主体的・対話的で深い学び」を実現するうえで、学校図書館を計画的に活用し、児童・生徒の自主的・自発的な学習活動や読書活動を充実させることが求められています。

そのような中、市内の小・中学校では子どもが読書に親しむ機会の提供と充実を図るために、学校図書館を活用したさまざまな取組を行っています。「図書や読書に関する全校集会」は、11校中6校の小・中学校で実施され、おすすめ本の紹介や貸出冊数の発表・表彰等の啓発活動を行っています。「朝読書」については、11校中9校の小・中学校で実施しており、「読み聞かせ」等については、すべての小学校で、地域のボランティア団体の協力等により行われています。また、「定期的に本に触れる機会のある部活動」では、1校の中学校で部活動を行っており、「調べ学習<sup>\*9</sup>」については、すべての小・中学校で学校図書館を活用しています。

年に1回以上、図書や読書に関する全校集会を実施していますか。



学校図書館を活用した授業（調べ学習等）を実施していますか。



### 【課題】

子どもの主体的、意欲的な読書習慣の確立のために、今後も各学校で継続的な取組を行っていくことが必要です。

### 【施策の方向】

子どもたちが読書の楽しさを知り、生涯にわたる読書習慣を身に付けることができるよう、学校図書館を計画的に活用します。特に、学校図書館を身近に感じるためにも、調べ学習での積極的な活用にも努めるとともに、各学校において特色のある読書活動を推進していきます。

#### (4) 市立の各図書館・学校等・民間団体等の連携・協力

##### 【現状】

子どもの読書活動を推進するために、市立図書館、各保育所、小・中学校、地域のボランティア団体がそれぞれの役割を担いながら、相互の連携・協力を図っています。

市立図書館と各保育所は、団体貸出、本のリサイクル等で連携・協力をしています。各学校とは調べ学習、図書館見学、学校図書館研修会、団体貸出、放課後こども教室等で連携・協力を図っています。地域のボランティア団体とは、各種事業での連携・協力やおすすめ本のリストの作成を実施しています。

児童館では市立図書館の職員が出向いての読み聞かせ、また協働で講座の開催や、児童館の職員に読み聞かせの研修を実施する等の連携・協力を図っています。

地域のボランティア団体は、各保育所及び各小学校で本の読み聞かせ等を行っています。

##### 【課題】

今後も継続した連携・協力が必要になります。

##### 【施策の方向】

子どもの読書活動を推進するために、相互の連携・協力を図りながら継続した取組を行っていきます。

図書館見学会で図書館や本に親しみを持ってもらう取組を行います。また、図書館まで遠くて団体での見学が難しい場合は、図書館から学校等に出向いて、出張の図書館案内を行う事も検討します。

また、学校で使用しているタブレット端末で電子図書館を利用できるようにして、調べ学習や朝の読書などに活用することを検討します。

## 基本的方針 2

### 子どもの読書活動を推進するための環境の整備・充実

#### (1) 市立の各図書館の整備・充実

##### ア 資料の整備・充実

##### (ア) こども図書館

##### 【現状】

絵本、知識の本、読みもの等、子どもの成長段階に対応する本や、様々な興味関心を満たすための分野の本を収集しています。読書量の幅を考慮しつつ、乳幼児から小学校低学年くらいまでが利用しやすい蔵書構成を心がけています。絵本、読みもの、さらに調べ学習に役立つ辞典や、日本十進分類法<sup>\*10</sup>の分類0類～8類の本の充実を図り、子育て支援の本の収集にも努めています。

##### 【課題】

調べ学習等に役立つ電子図書館<sup>\*11</sup>サービスを令和3年度に導入しましたが、使用が少なく、電子図書館サービスの周知が必要です。また、小学校低学年向けに、より良い蔵書構成とするのが課題です。

##### 【施策の方向】

引き続き、0類～8類の本の充実を図るとともに、利用者の興味・関心を満たすための分野の本の収集を行っていきます。

親子で楽しめる内容の本や子育てに悩む親の助けになるような資料の収集を行っていきます。幼児期に必要な良書を選定し充実を図ります。

また、小学校低学年の調べ学習にも役立つ蔵書構成に努めます。利用者の要望に応じてより詳しい資料を提供するため、初めて中央図書館を案内する場合は、子どもたちが安心して利用できるよう、中央図書館と連携したサポートを行っていきます。

電子図書館のサービスは、調べ学習に役立つ図鑑などの電子書籍<sup>\*12</sup>を、気軽に自宅で活用できることを周知します。

##### (イ) 中央図書館

##### 【現状】

児童コーナーでの児童向け図書資料の収集、調べ学習や総合的な学習の時間のための参考図書資料等の充実に努めています。



電子図書館のホームページ



電子書籍

※10 日本十進分類法・・・日本で使われている図書分類法です。図書の主題となる、あらゆる知識を1～9の数字を用いて分類し、どの区分にも属さない全般的なものには0を用いる分類法です。そしてさらに、0～9に分けるという繰り返して分類を細分化していきます。

※11 電子図書館・・・インターネットを通じてパソコンやタブレット、スマートフォン等から電子書籍を無料で借りて読むことができるサービスです。

※12 電子書籍・・・単行本や漫画、文庫本などを電子データ化し、それを電子機器のディスプレイ上で読めるようにした書籍です。

### 【課題】

図書館にあるヤングアダルト向けの図書を手に取っていただくための展示の工夫や、中高校生向けの図書資料を計画的に収集していく必要があります。

### 【施策の方向】

今後も、調べ学習に役立つ資料の収集を行うとともに、小学校中学年から中高校生を対象とした、読書活動に結び付くような図書資料の充実に努めます。

## イ 設備等の整備・充実

### (ア) こども図書館

#### 【現状】

利用者の多くが乳幼児から小学生であることを考慮し、館内のサインを大きくする等の工夫をしています。本を低い位置に配架することで、小さな利用者も好きな本を手に取りやすいようにしています。棚の角が危ないようにクッション材を取付け、設備を清潔に保ち、季節感のある装飾を手作りする等、居心地のよい空間の提供と安心して過ごせる環境づくりに努めています。

#### 【課題】

今後も、利用する全ての人が満足して穩かに過ごすことができる空間の提供に努めることが、必要となります。

#### 【施策の方向】

利用者が安全で快適に利用できるよう、自動貸出機<sup>※13</sup>の利用と電子図書館の利用を促進します。

また、居心地のよい空間の提供と安心して過ごせる環境づくりに配慮するとともに、寄添い・声かけ等の丁寧な対応を行っていきます。

### (イ) 中央図書館

#### 【現状】

大人の利用者が多い中央図書館内で、子どもたちが利用しやすいように、子ども優先閲覧席を設置しています。また、ヤングアダルトの本の展示やコーナーを設け、良書を手にする機会の拡大に努めています。令和5年7月にはタブレット端末の貸出を開始し、スマートフォンやパソコンを持っていなくても、館内で電子図書館のサービスを利用できます。

#### 【課題】

子どもたちが安心して図書館を利用することができるよう、こども図書館と連携したサポートが必要となります。

#### 【施策の方向】

こども図書館と連携した支援を行うとともに、調べ学習の相談、子ども優先閲覧席の利用等を通じて、子どもたちが中央図書館を利用しやすい環境の整備に努めます。

また、勉強や部活動等で忙しい中高校生にも、本を手に取ってもらえるよう、本の展

---

※13 自動貸出機・・・窓口カウンターに行かなくても、非接触により自分で貸出処理ができる機器です。



示の工夫やヤングアダルトコーナーと電子書籍の充実を図り、中高校生へのアプローチを推進します。

#### ウ 図書館職員研修等の充実（市立図書館）

##### 【現状】

児童サービスに携わる図書館職員は、子どもの本に関する豊富な知識と子どもに対する深い理解が必要となります。中央図書館では、児童奉仕、おはなし会、ブックトーク※<sup>14</sup>についての研修等、児童サービスに必要な知識・技術を身に付けるための研修を行い、職員の専門性の向上を図っています。

また、より良いサービス提供するために著作権研修、検索技術の研修、絵本やおはなし会についての研修、ブックスタート研修、障がい者サービス研修等の研修を実施しています。

##### 【課題】

今後は、ヤングアダルトを対象とした、資料の知識を深めるための研修も必要となります。また、限られた時間の中で多くの研修に参加できるよう、オンライン研修等を積極的に活用していく必要があります。

##### 【施策の方向】

文化庁や県立図書館等の研修を積極的に受講し、職員のスキルアップに努めるとともに、受講した職員が他の職員にフィードバックする仕組みを整えていきます。

また、図書館職員がステップアップしながら業務を遂行できるよう、体系的な研修プログラムを用意します。さらに、いつでも研修が行えるように、eラーニング※<sup>15</sup>による学習システムを活用していきます。

### （2）学校図書館の整備・充実

#### ア 図書資料の整備・充実

##### 【現状】

学校図書館には、豊かな心を育む読書センター※<sup>16</sup>機能と、児童生徒の学習活動を支援する学習情報センター※<sup>17</sup>としての機能があります。限られた予算の中で工夫して選書を行う等、図書の購入に努めています。市内小・中学校では、学校ごとに図書の購入希望調査等を行い、課題の自力解決に役立つ資料、調べ学習で不足している資料、興味を惹く図書等の購入に努めています。また、教員向けに図書見本の閲覧会を開き、購入希望調査を行って購入をしている学校もあります。

なお、学校図書館図書標準※<sup>18</sup>を達成している学校は、小学校は7校中3校、中学校は4校中1校と半数に満たない状況でした。

---

※14 ブックトーク・・・一定のテーマを立てて、一定時間内に何冊かの本を複数の聞き手に紹介する手法です。

※15 eラーニング・・・パソコンやタブレット、スマートフォンを使ってインターネットを利用して学ぶ学習形態のこと。

※16 読書センター・・・児童生徒の創造力を培い、学習に対する興味・関心等呼び起こし、豊かな心を育みます。

※17 学習情報センター・・・児童生徒の自主的、主体的な学習活動を支援するとともに、情報の収集・選択・活用能力を育成して、教育課程の展開に寄与します。

※18 学校図書館図書標準・・・公立義務教育諸学校の学校図書館に整備すべき蔵書の標準として、平成5年3月に定められました。

### 【課題】

課題に役立つ資料や調べ学習で資料が不足していることや、学校図書館図書標準に達していない学校があるので、図書資料の充実に努める必要があります。また今後も、児童・生徒が利用しやすいよう、図書の配置や紹介を工夫していく必要があります。

### 【施策の方向】

限られた予算の中で工夫して選書を行う等、図書の購入を計画的に充実させ、学校図書館図書標準に達するように努めます。今後も、各校の学校図書館指導員を中心に図書資料の整備・充実を積極的に推進します。

## イ 設備・環境の整備・充実

### 【現状】

校長のリーダーシップのもと、司書教諭<sup>\*19</sup>・学校図書館指導員<sup>\*20</sup>を中心として、学校図書館の環境整備に努めています。学校図書館指導員、保護者のボランティア、市立図書館等の協力を得て、すべての小・中学校において、おすすめ本のポップや季節ごとの室内掲示の工夫、読書イベントのお知らせ等を行っています。特に、小学校では「スタンプラリー」や「読書ビンゴ」等の取組が多く、中学校でも「おすすめの本の紹介」等の取組を行っています。



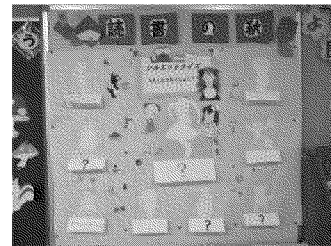
小学校の読書まつり

### 【課題】

学校図書館に足を運んでもらえる活動やイベントの開催と共に、児童・生徒への広報や働きかけが必要です。

### 【施策の方向】

今後も、各小・中学校の効果的で特色ある取組を情報共有し、魅力ある学校図書館環境づくりを推進します。



小学校の図書室の展示

## (3) 学校図書館の活用を充実していくための人的配置の推進

### ア 司書教諭の配置

#### 【現状】

司書教諭は、全校で12学級以上（特別支援学級含む）の公立学校に置くことが学校図書館法で定められています。本市における令和5年度の状況では、小・中学校全11校中、司書教諭を置く義務があるのは9校ですが、10校に司書教諭を配置し、学校図書館の充実に努めています。また、各学校に1名の学校図書館指導員を配置しています。

#### 【課題】

司書教諭を置いていないのは、小・中学校全11校中、1校です。読書活動を推進するために、すべての小・中学校に司書教諭を配置することが望まれます。

※19 司書教諭・・・全校で12学級以上（特別支援学級含む）の公立学校に置くことが学校図書館法で定められています。

※20 学校図書館指導員・・・学校図書館における図書の貸し出しや図書の整理などの通常業務を各学校で組織される図書委員会の子どもたちと共に行います。また、図書室内の掲示物を工夫して作成や子どもたちに読んでほしい本を推薦図書として紹介したり、本の読み聞かせ会などを企画して実践するなど、読書活動の推進を図る活動を行います。

### 【施策の方向】

司書教諭は学校図書館の中心となる重要な人材です。今後もすべての小・中学校に司書教諭を配置できるように働きかけます。

## イ 学校図書館指導員の配置

### 【現状】

各学校に1名の学校図書館指導員を配置しています。週15時間の勤務により、配架、児童・生徒へのレファレンス※21、司書教諭や学校図書館教育主任の補助、季節の掲示等を行い、学校図書館の充実に努めています。



小学校の図書室の様子

### 【課題】

司書教諭や学校図書館教育主任と連携した組織的な体制を確立し、学校図書館の機能が十分発揮できるようにする必要があります。

### 【施策の方向】

今後も、今までと同様に学校図書館指導員を配置しつつ、各学校の司書教諭や学校図書館教育主任と連携し、学校図書館を活用した教育の推進に、より一層努めていきます。

## (4) 障がいのある子どものための諸条件の整備・充実

### 【現状】

障がいのある児童・生徒に対する取組については、11校中9校の小・中学校で実施をしています。取組内容としては、点字本の設置、車いすでも自由に移動できる机の配置、本を手に取りやすいように配架の高さへの配慮等を行っています。

### 【課題】

学校図書室の施設的な配慮と同時に、利用しやすく興味を持てる図書資料の収集が求められます。

### 【施策の方向】

障がいのある児童・生徒に対して工夫や配慮をしている事例を各学校で共有できる機会を設け、諸条件の整備等、更なる充実を進めていきます。

---

※21 レファレンス・・・図書館で利用者の問い合わせに応じ、図書の照会や検索をする業務です。

## 基本の方針 3 子どもの読書活動に関する啓発・広報の推進

### (1) 「子ども読書の日<sup>※22</sup>」を中心とした啓発・広報

#### ア こども図書館

##### 【現状】

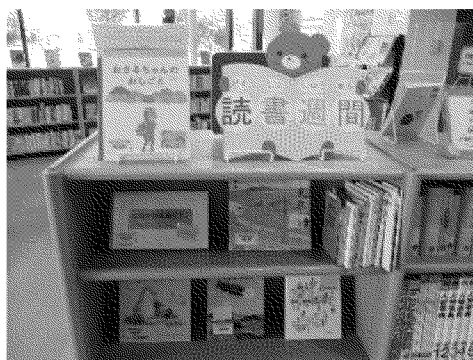
子どもへの読書の啓発と子どもにかかわる大人への啓発という2本の柱で行っています。こども読書週間<sup>※23</sup>に読み聞かせの大切さを発信する他、ブックトーク<sup>※24</sup>や様々なイベントを実施して、本を手にする機会の提供に努めています。

##### 【課題】

来館者の年齢が乳幼児から大人までと大変幅が広いので、イベント内容に工夫が必要になります。

##### 【施策の方向】

ブックトーク等は対象年齢別に行うことで、それぞれのニーズに合う本の紹介等を心がけます。また、イベントについては、家族みんなで楽しめる内容を工夫し、年齢の幅を超えて本への興味関心が持てるような取組を行います。



小学校の図書室の様子

#### イ 中央図書館

18

##### 【現状】

図書館行事の機会や図書館だより等で、読書活動の推進についての啓発を行い、こどもの読書週間に合わせた児童向け展示や工作会等のイベントを行っています。

また、中央図書館、こども図書館、地域のボランティア団体が連携し、「協働おはなし会」を実施しているほか、夏休み期間中には「子ども読書まつり」を開催しています。他にも毎年、児童文学作家や翻訳家等を講師に招いて、児童文学講座を実施しています。

##### 【課題】

事業内容の検討を行いながら、より充実した取組を行っていく必要があります。

##### 【施策の方向】

子ども読書の日を中心とした啓発やイベント等を実施するとともに、子ども読書まつりや児童文学講座等の事業を継続して行っていきます。

また、ヤングアダルト向けブックリストや市内ボランティアと協働で作成した乳幼児向けのブックリスト、図書館の情報を発信する図書館だよりの発行など、本を手にするきっかけとなる効果的な広報ができるようにします。

※22 子ども読書の日・・・「子どもの読書活動の推進に関する法律」により、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるために4月23日を「子ども読書の日」と定めています。

※23 こども読書週間・・・子ども読書の日である4月23日から5月12日までの約3週間の期間です。

※24 ブックトーク・・・あるテーマに沿って複数の本の内容を紹介し、読書意欲を起こさせる活動。

## ウ 小・中学校

### 【現状】

1 1校中8校の小・中学校でポスターの掲示や各種たよりの活用、読書啓発のためのイベント、校内放送での周知等の取組を行い、「子ども読書の日」に関連した啓発や広報活動を行っています。

### 【課題】

ポスターの掲示や各種たよりの活用、校内放送で啓発や広報活動を行っていますが、より効果的な周知方法の討検が必要です。

### 【施策の方向】

子ども読書の日を中心とした読書活動に関する啓発・広報に関する取組を、各校の実態に応じて継続します。



小中学校の図書室の様子

## (2) 優良な図書の普及

### ア こども図書館

#### 【現状】

読書感想文の課題図書や夏休み・冬休み等の推薦図書の展示、特集展示等を実施して、良書を手に入る機会を提供しています。また、おはなし会、ブックリストの作成、ブックトーク等を通して、多くの利用者に良書の存在を伝え、本を手渡し、読書に繋がる支援を行っています。なお、長く読み継がれてきた本の紹介についても、様々な工夫が必要です。

#### 【課題】

展示方法やイベント内容を、家族で興味を持てるものにする必要があります。また、こども図書館を利用する若い世代の家族が利用しているSNS等の活用についての検討も重要です。



おたのしみ袋（こども図書館）

#### 【施策の方向】

展示方法の工夫やおはなし会等で読み聞かせを行う等、家族で楽しい時間を共有できるようにします。展示やおはなし会等のイベントを通じて、本を手に入る機会を提供します。また、ストーリーテリング<sup>※25</sup>・手袋シアター・ブックトーク・大型絵本の読み聞かせ等、子どもが興味を持つようにプログラムを作成し、読書への興味を啓発します。

なお、館内ポスターやチラシ、図書館ホームページ、指定管理者のポータルサイト等のSNS等で積極的に周知します。

※25 ストーリーテリング・・・直訳すると「語り聞かせ」。語り手がお話を覚えて、聞いている人にお話を語ります。

## イ 中央図書館

### 【現状】

推薦図書、推奨図書、児童向け図書の展示や図書館だより、冊子等で優良な図書の紹介と情報の提供を行っています。また、家庭、学校等の関係機関へ優良な図書の情報を提供しています。

### 【課題】

図書の紹介のための、より良い情報発信や広報の方法の検討が必要です。

### 【施策の方向】

ヤングアダルトに向けて中央図書館で作成したブックリストや、市内ボランティアと協働で作成したリスト、図書館だより、冊子等での情報提供を行うとともに、SNS等を活用した若い世代の家族や中高校生への情報発信をします。

## ウ 小・中学校

### 【現状】

すべての小・中学校で、優良な図書の普及のための展示や紹介等の取組を行っています。

### 【課題】

優良な図書を、より効果的で目を惹く方法により、啓発することが重要です。

### 【施策の方向】

優良な図書の普及のための展示や紹介等の取組を、今後も各校の実態に応じて、継続的に啓発活動を推進します。

## 基本的方針 4 子どもが読書に親しむための推進体制の充実

### (1) 庁内関係部署と関係機関との連携強化

#### 【現状】

北本市子ども読書活動推進計画に沿って、庁内関係部署等が協力・連携して推進しています。また、北本市子ども読書活動推進計画に対して、庁内関係部署等が毎年度、どのような取組を実施したかを調査し、進捗状況を確認しています。

#### 【課題】

施策を総合的・計画的に推進するためには関係部署以外にも、幼児や児童生徒が過ごす関係機関として、保育所や小中学校との施策を、更に充実させる必要があります。

#### 【施策の方向】

子どもの読書活動の推進に向けて、関係部署と関係機関の保育所や小中学校が連携を強化して、施策の推進に努めます。

### (2) 新たな推進体制の検討

#### 【現状】

子どもの読書活動に関しては、市立図書館と小中学校が中心となって、事業を実施しています。

#### 【課題】

子どもの読書活動を総合的に推進できるよう、広い分野の機関・団体と情報を共有して、北本市子ども読書活動推進計画に基づいて事業を実施することが必要です。また、運用を開始した電子書籍の有効な活用方法の検討も必要です。

#### 【施策の方向】

事業を実施する場合は、企画段階で関係部署や広い分野の機関・団体と情報を共有・連携を推進します。多方面からの意見を参考にして、より効果の高い事業になるよう努めます。

## 第5章 資料

【資料1】第2次北本市子ども読書活動推進計画策定のためのアンケート結果

1 児童・生徒が読書に親しむ機会の提供と充実について	小		中		計	
	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
(1) 年に1回以上、図書や読書に関する全校集会を実施していますか。	4	3	2	2	6	5
(2) (1)で「はい」と答えた場合、どのような内容で実施していますか。	<input type="checkbox"/> 図書委員より本のクイズやおすすめの本の紹介を行う <input type="checkbox"/> 新着図書の紹介、読書まつりについて <input type="checkbox"/> 本の紹介や図書のイベントの宣伝など <input type="checkbox"/> 「読書の秋」や生活目標「本をたくさん読もう」に触れ、図書委員からおすすめの本紹介。イベントのお知らせ（くじなど） <input type="checkbox"/> 図書委員が中心となり、ポスターや図書キャンペーンなどを実施 <input type="checkbox"/> 多読賞の表彰					
(3) 週の半数以上、朝読書を実施していますか。	0	7	4	0	4	7
(4) 年に1回以上、読み聞かせを実施していますか。	7	0	1	3	8	3
(5) (4)で「はい」と答えた場合、どのような立場の人が読み聞かせをしていますか。	<input type="checkbox"/> 北本市子どもの本を楽しむ会 <input type="checkbox"/> ボランティア <input type="checkbox"/> 担任 <input type="checkbox"/> 担任以外の教員 <input type="checkbox"/> 文芸部					
(6) 定期的に本に触れる機会のある部活動がありますか。(中学校のみ)	—	—	1	3	1	3
(7) 学校図書館を活用した授業(調べ学習等)を実施していますか。	7	0	4	0	11	0

### 【分析】

11校中6校の小・中学校で「図書や読書に関する全校集会」を行い、おすすめ本の紹介や貸出冊数の発表・表彰等を行い、啓発活動を行っていました。「朝読書」については、11校中9校の小・中学校で実施をしていました。「読み聞かせ」については、4校の小学校で市内のボランティア団体を活用しながら実施していますが、中学校では1校しか実施していませんでした。中学校における「部活動」については4校中1校で本に触れる活動を行っている部があり、「調べ学習」についてはすべての小・中学校で学校図書館を活用していました。



2 市立図書館等との連携について	小		中		計	
	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
(1) 年に1回以上、市立図書館から本を借りることがありますか。	6	1	0	4	6	5
(2) (1)で「はい」と答えた場合、どのような目的で借りますか。	<input type="checkbox"/> 調べ学習等で本をまとめて利用する <input type="checkbox"/> 学校図書館にない本を借りて、調べ学習等で活用している <input type="checkbox"/> 調べ学習で新しい資料をかけるため					
(3) 年に1回以上、市立図書館等へ児童・生徒が出かけることがありますか。	2	5	0	4	2	9
(4) (3)で「はい」と答えた場合、どのような目的で出かけますか。	<input type="checkbox"/> 生活科の施設見学・図書館の使い方を学習するため					
(5) 「調べ学習等で似た内容の本をまとめて利用するため」、「総合や国語の時間等で図書室だけでは足りない本を借り、調べ学習で活用するため」、「春の読書まつりで使用するため」、「生徒からのリクエストに応じて借りるため」等を目的として、年に1回以上、学校として市立図書館等から本を借りることはありますか。(該当する方に○をお付けください)	6	1	0	4	6	5

### 【分析】

教師による市立図書館の活用については、調べ学習や不足図書の補充などを目的として市立図書館から本を借りていますが、中学校ではありませんでした。児童生徒による市立図書館の活用については、小学校では7校中2校が、授業における施設見学や調べ学習のために、中学校ではすべての学校が、調べ学習や自主学習のために活用していませんでした。図書館まで遠かったり交通が不便なためや、ネットで調べることが多いため、図書館を利用しないようです。

3 学校図書館の整備・充実について	小		中		計	
	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
(1) 学校図書館において、話題作や児童生徒が選んだ注目作の展示、または季節ごとの展示の工夫といった、展示の工夫をしていますか。	7	0	4	0	11	0

(2) (1)で「はい」と答えた場合、それはどのような工夫ですか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○委員が製作した、おすすめ本のポップアップ</li> <li>○読書イベントのお知らせ</li> <li>○新着図書や注目作は目に付きやすい場所にコーナーを設置して展示</li> <li>○季節・イベントに合わせた室内・廊下への掲示</li> <li>○風物詩や旬の食べ物などの掲示</li> <li>○毎月移動図書室を実施</li> <li>○月ごとの廊下掲示</li> <li>○生徒のお気に入りの1冊掲示</li> <li>○委員・部長・教員のおすすめ本紹介</li> </ul>					
(3) 学校図書館において、児童生徒の貸出冊数を伸ばしたり、学校図書館に足を運んだりしやすいようなイベント等を実施していますか。	7	0	4	0	11	0
(4) (3)で「はい」と答えた場合、それはどのようなイベントですか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○雑誌プレゼントや書名をわからなくして配架する”X文庫”</li> <li>○図書室を利用した人に「しおり」キャンペーン</li> <li>○毎月本を借りると参加できるイベント (本の重さあてクイズ等)</li> <li>○「手作りしおり」を配布や「おみくじ」企画</li> <li>○委員による読み聞かせイベント</li> <li>○スタンプラリーやビンゴ・福袋</li> <li>○おすすめの本の紹介と展示</li> <li>○借りたら参加できる「ゆるキャラ投票」や「ビンゴ」</li> <li>○クラスごとに貸し出しパズル</li> <li>○分類番号ごとに読んだ本の冊数に応じてスタンプを押すスタンプラリー</li> <li>○借りた人への「じゃんけん大会」「宝くじ」「分類ビンゴ」</li> </ul>					
(5) 障がいのある児童生徒にも使いやすいような工夫をしていますか。	5	2	4	0	9	2
(6) (5)で「はい」と答えた場合、それはどのような工夫ですか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本の配架を手に取りやすいように低めに配架する。</li> <li>○点字本の設置</li> <li>○分類番号にふり仮名を入れる</li> <li>○貸し出し目の文字が大きい</li> <li>○学年ごとに図書カードの色を変える</li> <li>○記入欄を大きくする</li> <li>○リーディング子ラッカーを用意して必要に応じて使用できる</li> <li>○大活字本の紹介</li> <li>○絵が入っている本や文字が大きく読みやすい本の選定</li> <li>○車いすでも自由に移動できるような机の配置</li> </ul>					
(7) 学校図書館の蔵書数は、「学校図書館図書標準」を達成していますか。	3	4	1	3	4	7



【分析】

中丸小 <sup>€</sup>	石戸小 <sup>€</sup>	南小 <sup>€</sup>	北小 <sup>€</sup>	西小 <sup>€</sup>	東小 <sup>€</sup>	中丸東小 <sup>€</sup>	北本中 <sup>€</sup>	東中 <sup>€</sup>	西中 <sup>€</sup>	宮内中 <sup>€</sup>
9,160	8,760	10,560	9,160	10,760	9,560	6,040	12,640	11,680	7,920	10,720

すべての小・中学校で学校図書館の展示や掲示の工夫をしており、また、学校図書館へ足を運びやすくするためのイベント等を実施していました。学校ごとに、趣向を凝らした様々なイベントや展示方法の工夫がありました。特に小学校では「読書ビンゴ」や「スタンプラリー」が多く、小中共通では「おすすめ本紹介」が多い結果となりました。障がいのある児童生徒に対する配慮については、小学校では7校中6校で実施していましたが、中学校では4校全校が実施していました。掲示物の拡大や色分け、配架の高さへの配慮などが見られました。学校図書標準を達成している学校は、小学校で3校、中学校で1校という状況です。

4 児童生徒の読書活動に関する啓発・広報の推進について	小		中		計	
	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
(1) 「子ども読書の日」(4月23日)を中心として、読書に関する啓発や広報活動を行っていますか。	6	1	2	2	8	3
(2) (1)で「はい」と答えた場合、それほどのような活動ですか。	○ポスター掲示 ○図書だよりの発行 ○読書啓発イベント ・しおりプレゼント                      ・読み聞かせ ・もう1冊貸出券                      ・スタンプラリー					
(3) 優良な図書の普及のために、展示や紹介をしていますか。	7	0	4	0	11	0
(4) 電子書籍に関する啓発や広報活動を行っていますか。	0	7	0	4	0	11
(5) (4)で「はい」と答えた場合、それほどのような活動ですか。						
(6) ICTを活用した読書に関する啓発や広報活動を行っていますか。	2	5	1	3	3	8
(7) (6)で「はい」と答えた場合、それほどのような活動ですか。	○読書の啓発のためのスライドをタブレットで製作し全教に話した ○電子黒板を利用した本の紹介、読み聞かせ ○Googleクラスルームを使用して図書委員が通知を発行している					

#### 【分析】

小学校では7校中6校、中学校では4校中2校が、ポスター掲示や各種お便り等を活用して「子ども読書の日」周知していた。また、すべての小・中学校で優良な図書の普及のための展示や紹介を行っていました。なお、すべての小・中学校で電子書籍に関する啓発や広報活動は行っていなかった。なお「ICTを活用した読書に関する啓発や広報活動」については、小学校では7校中2校、中学校では4校中1校が、ICTを活用している。

## 【資料2】北本市子ども読書活動推進計画策定委員会設置要綱

### 北本市子ども読書活動推進計画策定委員会設置要綱

(平成30年4月20日教育長決裁)

#### (設置)

第1条 子どもの読書活動の推進に関する法律(平成13年法律第154号)第9条第2項の規定に基づき、本市の子どもの読書活動の推進を図るため、北本市子ども読書活動推進計画策定委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

#### (所掌事務)

第2条 委員会は、次に掲げる事項について協議する。

- (1) 北本市子ども読書活動推進計画策定に関すること。
- (2) 子どもの読書活動の推進を図るために必要な事項に関すること。
- (3) その他必要な事項に関すること。

#### (組織)

第3条 委員会は、別表に掲げる関係課及び関係機関等により構成する。

- 2 会長は、子ども読書活動推進計画を策定する主管課の課長とする。
- 3 会長は、委員会を代表し、会務を総理する。
- 4 会長に事故があるときは、あらかじめ会長の指名する者がその職務を代理する。

#### (会議)

第4条 委員会は、会長が必要に応じて招集し、会議の議長となる。

2 会長は、必要があると認めるときは、委員会に委員会以外の者を会議に出席させ、意見又は助言を求めることができる。

#### (庶務)

第5条 委員会の庶務は、生涯学習課において処理する。

#### (委任)

第6条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営について必要な事項は、会長が委員会に諮って別に定める。

#### 付 則

この要綱は、平成30年4月20日から施行する。

【資料3】北本市図書館協議会委員名簿

No	氏名	選出区分
1	安田 一也	北本市小中学校校長会(1号委員)
2	大野 弥生子	社会教育委員の会議(1号委員)
3	森川 和代	文化団体連合会(1号委員)
4	福島 達雄	PTA 連合会(2号委員)
5	金子 友子	学識経験者(3号委員)
6	永野 京子	学識経験者(3号委員)
7	尾寄 美津枝	学識経験者(3号委員)
8	米山 清美	学識経験者(3号委員)

【資料4】第2次北本市子ども読書活動推進計画策定委員名簿

所属	職名	氏名
子育て支援課	主査	石井 伸也
児童館	館長	新井 陽子
学校教育課	主幹兼指導主事	前島 利彦
南小学校	教諭	檜村 佐知子
宮内中学校	教諭	間瀬 義之
深井保育所	所長	岩佐 恵子
学習センター	所長	関口 利夫
中央図書館	館長	高久 浩昭
こども図書館	館長	吉田 孝太郎
生涯学習課	課長	櫻井 猛博
生涯学習課【事務局】	主席主幹 藤原 雅臣 主任 金子 浩章	

【資料5】第2次北本市子ども読書活動推進計画策定の経過

年月日	会議名等	内容等
令和5年9月		第2次北本市子ども読書活動推進計画策定委員会の設置
令和5年10月10日	第2次北本市子ども読書活動推進計画策定委員会(第1回)	計画策定の進め方等について取組内容の回答依頼
令和5年10月		第2次北本市子ども読書活動推進計画策定に関するアンケート調査の実施(小・中学校11校)
令和5年10月24日	北本市図書館協議会(第1回)	第2次北本市子ども読書活動推進計画(素案)の審議
令和5年11月13日	第2次北本市子ども読書活動推進計画策定委員会(第2回)	取組内容の報告、課題の協議検討、第2次北本市子ども読書活動推進計画(素案)の修正
令和5年11月22日	教育委員会定例会	第2次北本市子ども読書活動推進計画(案)の審議
令和5年11月20日 ～ 24日		各墓所への意見聴取
令和5年11月29日 ～ 12月28日		パブリックコメントの実施
(予定)令和6年1月18日	第2次北本市子ども読書活動推進計画策定委員会(第3回)	取組内容の報告、課題の協議検討 第2次北本市子ども読書活動推進計画(案)の修正
(予定)令和6年1月25日	北本市図書館協議会(第2回)	第2次北本市子ども読書活動推進計画(案)の審議
(予定)令和6年1月25日	教育委員会定例会	第2次北本市子ども読書活動推進計画(案)の審議
(予定)令和6年3月21日	教育委員会定例会	第2次北本市子ども読書活動推進計画の議決後公表

**資料 4**

## 北本市図書館協議会委員名簿

No	ふり 氏	がな 名	選出区分	備考
1	やすだ 安田	かずや 一也	北本市小中学校校長会 (1号委員)	
2	おおの 大野	やえこ 弥生子	社会教育委員の会議 (1号委員)	
3	もりかわ 森川	かずよ 和代	文化団体連合会 (1号委員)	
4	ふくしま 福島	たつお 達雄	PTA 連合会 (2号委員)	
5	かねこ 金子	ともこ 友子	学識経験者 (3号委員)	
6	ながの 永野	きょうこ 京子	学識経験者 (3号委員)	
7	おぎき 尾寄	みつえ 美津枝	学識経験者 (3号委員)	
8	よねやま 米山	きよみ 清美	学識経験者 (3号委員)	

任期:令和5年7月1日～令和7年6月30日

## ○北本市図書館協議会規則

平成26年12月25日  
教委規則第10号

北本市立図書館協議会規則(昭和58年教委規則第1号)の全部を改正する。

(趣旨)

第1条 この規則は、北本市執行機関の附属機関に関する条例(昭和56年条例第26号)第3条の規定に基づき、北本市図書館協議会(以下「協議会」という。)の運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

(組織)

第2条 協議会は、委員10人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから北本市教育委員会(以下「教育委員会」という。)が委嘱する。

- (1) 学校教育及び社会教育の関係者
- (2) 家庭教育の向上に資する活動を行う者
- (3) 学識経験者

(任期)

第3条 委員の任期は、2年とし、再任されることを妨げない。ただし、委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第4条 協議会に会長及び副会長を置き、委員の互選により定める。

2 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 協議会の会議(以下「会議」という。)は、会長が招集し、その議長となる。

2 会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

3 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

4 協議会は、必要があると認めるときは、関係者の出席を求め、意見若しくは説明を聴き、又は資料の提出を求めることができる。

(庶務)

第6条 協議会の庶務は、教育委員会生涯学習課において処理する。

(委任)

第7条 この規則に定めるもののほか、審議会に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則

この規則は、平成27年1月1日から施行する。